



頌春 物津律士

謹んで新春の御慶びを申上げます。
昨年は不況ムードが農村を支配しまして、畜産界もさっぱりという状況でした。価格の保証制度もなく、流通機構の改善も進んでいないために、生産者の販売価格に畜産物の需給関係が深刻な影響を与えたのは驚くばかりでした。その間において、酪農界はなんとか切りぬけてまいりましたが牛乳生産の伸びは前年並みという状況に終始しました。一般に飼料高、労力不足などの悪条件はなかなか解決しそうにありません。

しかし私は、今年はきっと畜産界にとって良い年であるものと思っております。

酪農については、全国酪農民の待望久しかった乳価の安定制度の第一歩が、加工原料乳生産者補給金等暫定措置法の実施によって、本年四月一日から踏み出されることになつておりまして、それに伴つて酪農団体の再編成が全国的に考究されつゝあります。本県においては、県酪連がその指定団体としての業務を担当することになつております。さきに決定されました岡山県酪農組織整備計画の実施

と相俟つて、本県酪農界は着々健実なる

歩を進めるものと確信しております。

肉畜並びに卵価対策については、本年

から政府が本腰に取り組むようになっておりまして、画期的な施策が講ぜられる

ものと期待しております。

かように、我国の畜産は体质が弱いた

めに政府および県の強力なる指導施策に

依存せざるを得ないのは残念ですが、な

んと申しましても私共畜産人はえい智と

工夫努力さらに協同の力によって、本年

も引続いて地味な道をコツコツと歩まなければなりません。

社団法人岡山県畜産会においては昨年は従来にも増して畜産コンサルタント事業に意欲的に乗り出しまして、適切なる指針を出してまいりました。私は畜産会を今後本県畜産界の中枢指導機関に育成したいものと考えておりますので、各位はこの縁の下の力持ちともいえる経営指導にご期待していただいて、この制度のご利用によって体質改善に努力していくべきたいのであります。

謹んで読者各位のご多幸を祈上げます。

青成用
チック 前期
成鶏用
マルナカマッシュ

養鶏養豚乳牛肥育牛養魚各種完全飼料
日清完全飼料
製造元 日清製粉株式会社
発売元 日清飼料株式会社

「ま年は、まくゆくか

座談会

◎ 塞羽翁が馬

— 経営に対する意欲が大事 —

出席者

惣津律士
(岡山県酪連会長)

和田宏
(岡山大学教授)

渡辺滋樹
(岡山県和牛試験場長)

橋長誠
(福田種鶏場企画室広報課長)

千原英之
(岡山県畜産会管理普及課長)



放談中の渡辺、和田、惣津、橋長の各氏
(左から)

きましたし、技術にしても進歩の跡が顕著です。一部の人気がいっているような畜産に対する悲観的見方は、長い目でみれば心配しなくともよいのではないかどうかね。

和田……いつの時代でも悪くてどうしようもないという商売はありません。悪い半分があれば、半分はうまくやっている筈なのです。その人の能力を十分に活かしてやっている人は儲かっているのです。

橋長……畜産も一つの企業ですから、その人の経営に対する態度が大切でしょ。全体的にみれば不況の場合でも、なかを探せば二分の一くらいの人は儲けているものです。

食肉は世界的に不足の傾向でしょ。経営さえしっかりやっておれば、かなりの高マージンをあげられると思いますがね。

渡辺……経済消長には周期があります。簡単にいいますと、福は災のもと、災は福のもとということで、経済消長のみならず人生の上でも幸不幸のくり返しがあるのですから、畜産でも価格が下落したからといって止めてしまうのではなく、この谷間でこそ頑張つて次にくる高い波をねらうように頭をひねるべきです。

惣津……畜産も一つの企業ですから、その人の経営に対する態度が大切でしょ。全体的にみれば不況の場合でも、なかを探せば二分の一くらいの人は儲けているものです。

食肉は世界的に不足の傾向でしょ。経営さえしっかりやっておれば、かなりの高マージンをあげられると思いますがね。

「人間万事塞翁が馬」というのがあります。簡単にいいますと、福は災のもと、災は福のもとということで、経済消長のみならず人生の上でも幸不幸のくり返しがあるのですから、畜産でも価格が下落したからといって止めてしまうのではなく、この谷間でこそ頑張つて次にくる高い波をねらうように頭をひねるべきです。

さいさい

ました。技術にしても進歩の跡が顕著です。一部の人気がいっているような畜産に対する悲観的見方は、長い目でみれば心配しなくともよいのではないかどうかね。

和田……いつの時代でも悪くてどうしようもないという商売はありません。悪い半分があれば、半分はうまくやっている筈なのです。その人の能力を十分に活かしてやっている人は儲かっているのです。

橋長……畜産も一つの企業ですから、その人の経営に対する態度が大切でしょ。全体的にみれば不況の場合でも、なかを探せば二分の一くらいの人は儲けているものです。

食肉は世界的に不足の傾向でしょ。経営さえしっかりやっておれば、かなりの高マージンをあげられると思いますがね。

ね。

決して、現在の畜産が不況であることに悲観することはないです。惣津さんが先におっしゃったように、昔に比べて畜産自体も、施策の上でも著しい進歩があるのだから、こゝで頑張らなくてはダメですよ。

惣津……私は昭和七年に畜農業といふことがいわわだしたときから畜産に関係しているのですが、その当時の畜産のあり方、考え方を未だ固持している人ほどです。十分な技術を身につけることはもちろんですが、経営の知識、企業的センスを持つ、セールスマン的な人間になる必要があります。努力している人は悪くなる筈ないです。

それに加えて、我々が要望しているのが価格の安定政策です。日本のような特殊な零細農業では、個人では基盤整備などにできないのだから、どうしても国の力が必要になります。そろそろ我々の政治力の結集の結果が現われてきてはおりますがね。

価格補償も酪農が今年の四月一日から実施されますし、鶏卵でも全販連から卵価安定基金を借りるようになっています。食肉のほうも大きく取り上げられようとしており、このように畜産物は国民生活の中に入り、ますます重要性を高じているんですよ。

司会……今年の半年にちなんで、半年生まれの方々にお集まりいただき、日頃考えておられる畜産の問題について話しましたが、新年早々のお忙がしいところを時間をさいて下さりありがとうございました。

ところで、昨年の前半は価格的に不況時期で畜農家も青息吐息の状態でした。が、後半価格を持ち直してきたのでようやく顔のしわものばしての新年を迎えて

いる現状だろうと思うのですが、しかし根本的に問題が解決したとは誰も思っていないことです。

いまの畜産の問題点はどこにあるのか。先ず畜産界の大先輩から口火を切つていただきましょうか。

惣津……基本的にいうと畜産の現状は非常に難かしいところに立たされているといえます。しかし、過去に比べてみれば畜産そのものは技術的に大分進歩していますね。経営のやり方についても変つて

私は今年あたり、こういう情勢からして、畜産を伸ばすには絶好のチャンスだと思うのです。

橋長……養鶏をみても昭和三十八年に農家手取り価格が一九二円していたものが、構造改善事業で笛太鼓の鳴るもの入りで、無方針、無計画に急激に増やした為に、三十九年にガタツと下落し、それが四十年の前半にまで永らくことになります。自分の經營内容を十分把握して、経営能力にマッチした計画を樹てなければだめですね。經營者本位にものとを考えなければ、古い変らず周期をくり返すことになります。

渡辺……肉牛界も、子牛のセリ価格にみられるように、昨年の三月頃と十二月頃を比べてみると二倍から二倍半に伸びており、今までにない好況といえます。これは、肉の需給関係からすれば当然の価格といえます。

一部の農家では、二・三年したらまた下ってしまうのではないかという心配をもつておられるようですが、現実的に見て現在肉の絶対量が世界的に不足しているのだから、そな簡単には崩れずの心配はないと思われます。

惣津……国民生活の向上から、需要がますます増大するでしょうからね。

和田……畜産家の収益性を向上させることにはいろいろな条件がありますが、今までにない好況といえます。

が、農家の經營に対する意欲が先ず第一になりますか。

惣津……私は先頃まで県立酪農学校で教育をしておりましたが、私が古い時代の人間だからでしょうが、古いは古いため、吉いなりの教育をしてきたのであります。若い生徒に先ず第一に自信をもつてやれといったのです。結果としては儲けなければならないが、いくら儲かるので、吉いなりの教育をしてきたのです。若い生徒に先ず第一に自信をもつてやれといったのです。結果としては儲けなければならないが、いくら儲かるので、吉いなりの教育をしてきたのです。

橋長……昨年の岡山県農業後継者大会上出席してみたのですが、そのなかで農村の若い女性が、最近の社会問題になっている農村の嫁さんについてこう語られていました。

「今の農村の若い人は自信と誇りがないところへ今の若い女性は嫁にはいられない」と農村の一面を語っている話で、私もみんなで検討して、そしていまようやく発言をしていました。

目標も經營計画も持っていない。そういう九人の経営のやり方が解るわけで、それをみんなで検討して、そしていまようやく発言をしていました。

◎ 望みたいたい価格の安定政策

—その場限りの補助金政策

司会……畜産を営む人の經營意欲もさることながら、反面において、それだけでは解決のつかない問題もあると思います。先程のお話に出ました価格安定の問題もその一つですし、国の農業政策そのものにも定説がないことなど、流通、政策に課せられた問題も多いと思います。

和田……そうです。ちょっと肉が値上がりすれば、政府はすぐ外国から肉を輸入

けんめいやりぬく、これが国に対する、社会に対する奉仕だという精神でやれば、そして歸けるといって来たのですがね。

橋長……昨年の岡山県農業後継者大会上出席してみたのですが、そのなかで農村の若い女性が、最近の社会問題になっている農村の嫁さんについてこう語られていました。

「今の農村の若い人は自信と誇りがないところへ今の若い女性は嫁にはいられない」と農村の一面を語っている話で、私もみんなで検討して、そしていまようやく発言をしていました。

目標も經營計画も持っていない。そういう九人の経営のやり方が解るわけで、それをみんなで検討して、そしていまようやく発言をしていました。

けんめいやりぬく、これが国に対する、社会に対する奉仕だという精神でやれば、そして歸けるといって来たのですがね。

新年号目次

頃春	惣津律士	1
座談会		
橋長……昨年の岡山県農業後継者大会	前田恒子	18
に出席してみたのですが、そのなかで農村の若い女性が、最近の社会問題になつてゐる農村の嫁さんについてこう語られていました。	15	
目標も經營計画も持っていない。そういう九人の経営のやり方が解るわけで、それをみんなで検討して、そしていまようやく発言をしていました。	15	
ニユーカッスルの入りをいかに	ブラジル移民と養鶏	20
防ぐか		
我が國の酪農乳業産業の将来		
橋長……昨年の岡山県農業後継者大会	橋長	26
に出席してみたのですが、そのなかで農村の若い女性が、最近の社会問題になつてゐる農村の嫁さんについてこう語られていました。	24	
目標も經營計画も持っていない。そういう九人の経営のやり方が解るわけで、それをみんなで検討して、そしていまようやく発言をしていました。	24	

◎ 経営の単一化を

—市場価値の高揚が大切

事例紹介	再び和牛の一大生産地帯に：	10	26	24	20	15
团体便り 酪連だより 経済連だより	コントラクト事業の仕事で鷹方地区を診断させていただきましたが、水稻を擴護の立場をとつてくれないと感じる傾向におこるとしているみたいです。	10	26	24	20	15

惣津……それに土地がいらないしね。
和田……金融機関も立派な牛舎を作らないと金を惜さない。そしてそのあとでの經營指導も悪いのだから。(笑)
養鶏でも昨年の春あたり、立派な鶏舎だけ残つて、にわとりはいなくなつた有様ですからね。
和田……農林行政の補助金の交付の仕方が悪いですね。人間の住む家よりもものを作らないと補助しないなんて無茶ですよ。岡山あたりでは、四本柱のある

食肉の流通機構には問題がありすぎますね。ブロイラ―にしても農家の手取りはわずかなものですが、これが市場にて消費者が買うとなる三百グラムが六十円も七十円もしている状態ですから、手取りは良くなりません。外國では政府がそうとう力を入れている国が多いようです。

惣津……それからの食肉供給計画をみると、ブタとブロイラ―に比重がかなりかゝっていますね。ブロイラ―はすごいスピードで伸びているでしょう。

和田……資本が割に少くすみ、そして回転が早いですからね。また、草刈る労力が必要でしよう。最近は朝早くおきて草を刈るなんてことはしないようになりましたからね。

惣津……それに土地がいらないしね。
和田……畜産は土地が必要だし、資本も大きい。

司会……いろいろな理由はありますようが、当面の問題として、畜産物価格が安いことで不安定な状態であるとすれば、量で収入の不足を補ななければならぬことになり、耕種拡大の方針をとります。

橋長……今の一般的農家の場合ですかね、水稻を切り離すことはできませんから、

水稲を主体にしてそれにプラスする養鶏は三千羽が限度だと思います。

和田……農業を司る農林省までが農業政策を擁護の立場をとつてくれないと感じていますが、消費者物価を下げるために外國肉を輸入して価格を抑え、生産者手取りは据え置き態勢におこるとしているみたいです。

政府自体とすれば国民全体のバランスを保つことにあるのですから当然かもしれません。農業を司る農林省までが農業政策を擁護の立場をとつてくれないと感じていますが、消費者物価を下げるために外國肉を輸入して価格を抑え、生産者手取りは据え置き態勢におこるとしているみたいです。

家はどうしたらよいのか、迷うのもまた当然だと思うのですね。我々が畜産コンサルテーションに回つてみましても、畜産經營それ自身の問題より、農政に課せられた問題の方がより大きいことを痛感することがしばしばです。

当然だと思うのですね。我々が畜産コンサルテーションに回つてみましても、畜産經營それ自身の問題より、農政に課せられた問題の方がより大きいことを痛感することがしばしばです。

そこには四つの胃の家畜と一つの胃の家畜は、本質的に生産過程が違うのですから、経営は分けるべきではないでしよう。

橋長……水稻はある程度粗放栽培ができますから、他の部門に全力をかけられたら、絶対につまずく時が来ると思うのです。にわとりと豚は濃厚飼料につけ育する地帯に、大家畜は資源の利用できる地帯に、適地適畜の区分がつて当然でしよう。

渡辺……農業基本法でも主産地形成といつて重点基幹作物を決め、これは一地域ごとの類型を割り出して指導しています。

和田……生産物の集出荷とか、販売、資材の購入の面ではある程度の集団化は進めるべきであり、市場権の獲得のためには有利な方法です。しかし畜産そのものには地域性はないでしよう。

惣津……畜産の形、土地条件などによつて左右されるでしょうね。

和田……市場価値をもつようになるだけの最少限度の集団化は必要ですが、中央集権的にその地域を一色に取りこなすことは危険性がありますから、やはり一定のなかに多様性があつてよいのではないかでしよう。

橋長……と、いっても現在のように、そんなに大きな経営規模でもないのに、一つの経営体が何部門も取り入れているの

で、しかも、農業はすべてあつてはならないと思います。それを補つていくのが

團地化、主産化でしよう。

司会……集団化を行政的圧力で一方的に進めるといろいろ御弊が出来ましても、農家の自主的な経営意欲によつて進めていくことが大切なでしよう。

司会……ところで、いろいろ、曲折はありました。が、酪農三法の成立をみて、酪農試験場も画期的な年を迎えたのですが、今年の酪農界の情勢はどうでしようか。それについての話題も多いのではないかと思いませんが……。

惣津……岡山県の乳牛飼養頭数の最高

が三万四千頭ぐらいになりましたが、不

は経営を中途半端にしている源で、やはり絞ることが必要だと思います。

渡辺……作目を絞るということは、多頭羽経営に関連します。和牛でも一頭飼っている人と五頭飼っている人では、經營者の気構も、考え方も、經營のやり方も違つて来ますからね。

橋長……我国のような零細な農業基礎では、企業的農業はすべてあつてはならないと思います。それを補つていくのが

團地化、主産化でしよう。

司会……集団化を行政的圧力で一方的に進めるといろいろ御弊が出来ましましてが、農家の自主的な経営意欲によつて進めていくことが大切なでしよう。

司会……集団化を行行政的圧力で一方的に進めるといろいろ御弊が出来ましましてが、農家の自主的な経営意欲によつて進めていくことが大切なでしよう。

◎ 不足払ひ制度の実施

— 整備される酪農 —

司会……ところで、いろいろ、曲折はありました。が、酪農三法の成立をみて、酪農試験場も画期的な年を迎えたのですが、今年の酪農界の情勢はどうでしようか。それについての話題も多いのではないかと思いませんが……。

惣津……岡山県の乳牛飼養頭数の最高

が三万四千頭ぐらいになりましたが、不

しかし、農家全てが乳価に关心をもつてゐるかというとそうではありません。

飼飼なんかと遊ぶて酪農は、二頭飼いが多く、これらの連中は割と関心がうすいんですよ。また二十頭以上というような多頭化になると、問題にしなくなつてきます。四、五頭のところが一番苦しい

んです。

問題の乳価ですが、昨年は一昨年よりも比べて平均乳価が一円しかあがっていないのです。しかも、それは季節別のまちまちな価格なのです。乳価交渉は酪農と

メーカーとでやつていますが、メーカー側はメーカー同志の結束が強いし、地域との連がりが深いし、組合によつては裏

乳価をとつてゐるところもあつて、なかなか難しいんですよ。よほど生産者は意識統一して、團結して、メーカーと相対して正々堂々の要求ができるよう努力しないとだめですね。

しかし、四月からは原料乳生産者補給金暫定措置法によって、用途別乳価になりますからよくなります。原料乳価格は中央で決め、市乳価格を地方で決めるのですが、岡山はたぶん大阪の価格と同じになると思います。この暫定法のねらいは、日本の生乳はオール市乳に向けて、乳製品は外国の安いものを輸入すればよいという考え方です。だから、市乳化が進めば進むほど、農家の手取りはよくな

ります。原料乳生産者補給金暫定措置法によって、用途別乳価格は中央で決め、市乳価格を地方で決めるのですが、岡山はたぶん大阪の価格と同じになると思います。この暫定法のねらいは、日本の生乳はオール市乳に向けて、乳製品は外国の安いものを輸入すればよいという考え方です。だから、市乳化が進めば進むほど、農家の手取りはよくな

ります。この価格政策によって多頭飼養農家は明細を示し、農家はそれをよく理解して経営の改善に努力してもらわないと、我々も力が入りませんよ。

和田……肉の高騰から、最近はだいぶ乳牛がつぶされているようです。

惣津……肉の高騰から、最近はだいぶ

るわけです。

酪運の会員組合は乳の販売を無条件で委託するのだから、どこに売ろうと勝手なわけで、津山周辺の乳を雪印がなかなか市乳化しなかつたら、岡山のオハヨーにもつてきて市乳化を促進し、農家の為につくすといふこともできるのです。これを機にヒモ付き乳価をなくし、公正な取引きを推進しようと思っているのです。今までの酪農の発展の仕方をみると、ある乳業会社が工場を作り、そこを中心にして広まつてゐるのです。だから農民は会社に忠誠を誓つています。この辺をちち切ろうといふのですから、一の辺を守らなければなりません。

飼飼なんかと遊ぶて酪農は、二頭飼いが多く、これらの連中は割と関心がうすいんですよ。また二十頭以上というような多頭化になると、問題にしなくなつてきます。四、五頭のところが一番苦しい

んです。

問題の乳価ですが、昨年は一昨年よりも比べて平均乳価が一円しかあがっていないのです。しかも、それは季節別のまちまちな価格なのです。乳価交渉は酪農と

メーカーとでやつていますが、メーカー側はメーカー同志の結束が強いし、地域との連がりが深いし、組合によつては裏

乳価をとつてゐるところもあつて、なかなか難しいんですよ。よほど生産者は意識統一して、團結して、メーカーと相対して正々堂々の要求ができるよう努力しないとだめですね。

しかし、四月からは原料乳生産者補給金暫定措置法によって、用途別乳価格になりますからよくなります。原料乳価格は中央で決め、市乳価格を地方で決めるのですが、岡山はたぶん大阪の価格と同じになると思います。この暫定法のねらいは、日本の生乳はオール市乳に向けて、乳製品は外国の安いものを輸入すればよいという考え方です。だから、市乳化が進めば進むほど、農家の手取りはよくな

ります。原料乳生産者補給金暫定措置法によって、用途別乳価格は中央で決め、市乳価格を地方で決めるのですが、岡山はたぶん大阪の価格と同じになると思います。この暫定法のねらいは、日本の生乳はオール市乳に向けて、乳製品は外国の安いものを輸入すればよいという考え方です。だから、市乳化が進めば進むほど、農家の手取りはよくな

畜産技術者は参加して下さい

畜産技術者は参加して下さい

岡山県畜産会では、畜産技術講習会を下記により開催します。これは、県下の畜産技術者の技術の向上を図るうとするもので、県、市町村、農協、組合の技術者および農家の方たれども参加できます。

岡山県畜産の発展のために、関係者多数のご参集をおねがいします。

記

一、肉用牛の部
①講演　日時 昭和四十一年三月十九日　場所 岡山市内山下県庁九階ホール　講師 渡辺滋樹(岡山県和牛試験場長)

内容 肉牛生体および枝肉の見分け方

二、酪農の部
①講演　日時 昭和四十一年三月十六・十七日　場所 津山市網ノ浜県畜食肉市場　講師 石原盛衛(全国和牛登録協会事務理事)

内容 肉牛生体および枝肉の見分け方

②実習　日時 昭和四十一年三月二四・二五日　場所 津山市津山高校同窓会館　講師 岸津正(日本大学助教授)

内容 ミルカーの正しい使い方とサ

イレージン

三、養鶏の部
①講演　日時 昭和四十一年三月二四・二五日　場所 岡山市太田岡山県酪農試験場　講師 国師重孝(岡山県養鶏試験場長)

内容 衛生(にわとりの解剖)

②実習　日時 三月二十五日午後　場所 林葉品ビル　講師 守屋進(岡山県養鶏試験場第二課長)

内容 衛生(にわとりの解剖)

なる原種および原々種の造成のための改良を積み重ねてゆくべきであると思ひます。

總津……肉牛に対する牧野改良に対し、國でも四十一年度から予算を計上していますね。

渡辺……県の昭和四十一年度予算も、

とくに繁殖育成に重点がおかれ、草地も牛については簡易草地の造成を、放牧形式で省力多頭管理をねらっています。

そして和牛繁殖センターの設立、預託牛の問題、草地改良の補助、いろんな利子補給の問題等が主たるものとして取り上げられています。試験研究機関では卓

肉能力検定試験が引き続き行われます。

總津……和牛飼育農家は経営知識、センスが、養鷄農家や酪農家に比べてたいぶおくれている感じがしますね。牛が好きだから飼う、古くから生産地だからや

つているというふうに、古い慣習にとらわれています。その技術は歩はしてい

るのだろうが、伝統ある飼育の技術であつて、新しい時代の技術ではないです。

渡辺さんはこれからは放牧形式をとい

われましたが、実際には放牧なんかしないで、濃厚飼料をちょっとやって出そう

とする安易なやり方が行われ勝ちなんですね。基本的に考え方を検討し直さないといけません。和牛王国のお株を東北や北海道にとり

れてしましますよ。むこうには広い牧

野があり、改良も経営も新しい考え方でどんどんやっていますからね。

橋長……私は肉牛のことはズブの素人ですが、農家の牛の預託制度についても牧野の問題にしても、なにかまるつきり基盤ができないような考えがするのですがね。

渡辺……たしかにその点はありますね。主たる生産地である伊北の千原、奥津、上齊原、美甘、新庄には広大な放牧場があつて、五月から十一月までは全面放牧を行っているのですが、この放牧場がたいへん荒廃しているのです。これを改良しないことに、ダニはつく、虫はくるで子牛の親は乳は出ない、それで骨皮になつた牛を市場に出すのですから、儲けにはなりません。簡易草地造成をやって輪換放牧等をすれば、価格の向上も期待できるのですがね。

物津……調教とか被毛の手入れの技術はとび抜けていいのですが、飼育の技術はどうもね。界がテコ入れをしていくと

いうのですから、農家もやり方をもう少し考え直してやってですね、供給地として純粋種のブリーディングを重ね、立派なものを生産して儲けるようにしたいものですね。

渡辺……それに、最近は生産、育成、肥育、一貫經營が良いか、分離經營が良いか学者間の意見もまちまちのようですが、検討を要しますね。

昨年末の県枝肉共進会でも、全県下か

ら肥育牛が出品されておりました。

和田……和牛の問題はまず飼養基盤ができます。和牛試験場でも、水稻プラス和牛経営タイプの試験を作成しているのです。し

かし、私は立派なものがあると思うので、肉牛で企業化が叫ばれているのは最近のことと、和牛には企業などというものがなく、農業生産をうまく盛り立てる

一つの道具であつたのです。和牛が動力源であり、肥料源であつて、水稻経営を助けていたのです。昔は水稻と和牛が我々の生活の全ての基盤で、全ての生活

用品が水稻でできており、それを助けるものが和牛であつて、これが和牛の基盤というもののだったのです。肉牛として生れかわった現在の基盤がないわけですよ。

渡辺……農業経営のなかでは水稻は袁退部門といわれていましたが、最近では米が足りなくて先き食いをしている有様

で、水稻の有利性は当分続くものと考え

られますので、水稻を中心にして他部門をプラスした経営を考える必要があります。

和田……和牛試験場でも、水稻プラス和牛経営タイプの試験を作成しているのです。

和田……世界の牛肉の生産量は三千万トンといわれていますが、オーストラリア、アメリカ大陸では水分が非常に少く

てかんぱにあいややすく、草資源の生産が不安定で、したがって肉の生産も不安定なわけです。日本では朝の挨拶はオハヨウといいますが、根本はそこではなく利益の点ですよ。草を作れ、草を作れといいわねなくて、筋けに

國家が草を作れば牛が飼えると考えるのはあたりますが、根本はそこではドワダイというぐらいですかね。

和田……アメリア大陸では水分が非常に少く、草資源の生産も不安定ですが、根本はそこではドワダイというぐらいですかね。

和田……世界の牛肉の生産量は三千万トンといわれていますが、オーストラリア、アメリカ大陸では水分が非常に少く

◎ 野生の草を

一 利用する研究を

和田……草類の問題もありますよ。何千、何億年と日本の土地になじみ、繁りてきている草があるのですから、これらをなんとか利用する方法を考えないと。

渡辺……和牛試験場で山野に自生して

和田……草類の問題もありますよ。何千、何億年と日本の土地になじみ、繁りてきている草があるのですから、これらをなんとか利用する方法を考えないと。

渡辺……和牛試験場で山野に自生して

和田……草類の問題もありますよ。何千、何億年と日本の土地になじみ、繁りてきている草があるのですから、これらをなんとか利用する方法を考えないと。

渡辺……和牛試験場で山野に自生して

うな効果があるか試験して発表したところ、技術連絡会議が注目し、中国地方の重要課題に取り上げてくれました。ほかにも日本の土地に適したクズなどの野草があるのですから、これを大いに利用することが必要ですね。

和田……私は徳島県と協力して草地の調査をしたことがあります、その時二メートル以上のカヤがボウボウと茂っています。

どうにもならない土地があったので対象外にしていたのですが、そこに乳牛を離して、ところどころで食べわ食うわで、秋ガヤに近い固いやつを根元までくつて十余町歩を丸坊主にしてしまいましたよ。

このカヤを中心に草地改良すれば、すぐ立派な草地ができると思います。とくに肉牛用にはいいでしょう。

總津……ニュージーランドでも野生種を中心で改良したといつてました。日本でも昔はそういう研究もしていたが、最近はものごとが何でも即製になってしまいまい、安易になってしまいますよ。

本當の牧草の研究者もいませんしね。

草地造成にても、金を補助してくれただけ搔けばよい式の考え方で、あとははつちらかしてワラビ畑を作っている状態なんですね。蒜山が例で、けつきよく、蒜山を悪くしてしまったのですよ。

和田……畜産の問題もあつたのです。

中間指導者層の養成が畜産ではよくれており、なかでも養鷄の遅れがとくに目立つています。

渡辺……その上に、指導者間の技術的な意識統一ができていません。人によつてまちまちな指導をしているのですね。

和田……和牛は悪い悪いといつてもござでよい例を示しますと、昨年末の枝肉共進会の最高牛は約三十万円で売れていました。

◎ 明るい見通しの今年の畜産

一 指導組織の確立が急務

司会……草に限らず、畜産関係は指導組織の確立がおくれているのは事実です。

畜産会等もその助長を図つて、四十年事業として、畜種別に経営指導指標といつてはいるのですが。

橋長……たしかに、県や国の試験機関では多くの研究がなされていますが、それら研究者と実際農家をつなぐ指導者層が欠けていると思います。実際に農家

術者による指導もできるようになります。また、技術者のいない地区はほとんどないのですが、どうもへんなもので県の技術者が一番えらいと考えるくらいがありません。少ない技術者といわれているものでありますから、これを無駄のない組織化を、全県下で一手に握つてもらいたいですね。

和田……畜産の問題もあつたのです。和田によると、民間の技術者がたやすく金を補助してくれただけ搔けばよい式の考え方で、あとははつちらかしてワラビ畑を作っている状態なんですね。蒜山が例で、けつきよく、蒜山を悪くしてしまったのですよ。

橋長……まだ、民間の技術者がたくさんいますが、どうしても頭のなかのどこかに会社のことがこびりついているものですから、これを無駄のない組織化を、全県下で手はむりでしてようから地域的に体制を作りたいのです。

和田……畜産の問題は本当にわとりを除けば、子供をうまませること、繁殖といふことです。ところが、一般の技術者の受精技術は極めて未熟であるのです。県は人工授精を民間に移じようするからには、責任をもつてこれら技術者の指導をやつてもらいたいですね。

司会……今年一年、畜産の見通しはどうなるでしょうか。

橋長……畜産物そのものの見通しは極めてよいでしょう。

和田……畜産の見通しは極めて未熟であるのです。県は人工授精を民間に移じようするからには、責任をもつてこれら技術者の指導をやつてもらいたいですね。

司会……今年一年、畜産の見通しはどうなるでしょうか。

橋長……養鷄も現在残っている人々は昨日前半の想像もできないような不況期を切り抜けて来たばかりですから、もう少しのことではへこたれないでしょう。

和田……畜産の問題もありますよ。和田によると、民間の技術者がたくさんいますが、どうしても頭のなかのどこかに会社のことがこびりついているものですから、これを無駄のない組織化を、全県下で一手に握つてもらいたいですね。

和田……畜産の問題もあつたのです。和田によると、民間の技術者がたくさんいますが、どうしても頭のなかのどこかに会社のことがこびりついているものですから、これを無駄のない組織化を、全県下で手はむりでしてようから地域的に体制を作りたいのです。

和田……畜産の問題もあつたのです。和田によると、民間の技術者がたくさんいますが、どうしても頭のなかのどこかに会社のことがこびりついているものですから、これを無駄のない組織化を、全県下で手はむりでしてようから地域的に体制を作りたいのです。

和田……畜産の問題もあつたのです。和田によると、民間の技術者がたくさんいますが、どうでも頭のなかのどこかに会社のことがこびりついているものですから、これを無駄のない組織化を、全県下で手はむりでしてようから地域的に体制を作りたいのです。

和田……畜産の問題もあつたのです。和田によると、民間の技術者がたくさんいますが、どうでも頭のなかのどこかに会社のことがこびりついているものですから、これを無駄のない組織化を、全県下で手はむりでしてようから地域的に体制を作りたいのです。

うな効果があるか試験して発表したところ、技術連絡会議が注目し、中国地方の重要課題に取り上げてくれました。ほかにも日本の土地に適したクズなどの野草があるのですから、これを大いに利用することが必要ですね。

和田……私は徳島県と協力して草地の調査をしたことがあります、その時二メートル以上のカヤがボウボウと茂っています。

どうにもならない土地があったので対象外にしていたのですが、そこに乳牛を離して、ところどころで食べわ食うわで、秋ガヤに近い固いやつを根元までくつて十余町歩を丸坊主にしてしまいましたよ。

和田……私は徳島県と協力して草地の調査をしたことがあります、その時二メートル以上のカヤがボウボウと茂っています。

どうにもならない土地があったので対象外にしていたのですが、そこに乳牛を離して、ところどころで食べわ食うわで、秋ガヤに近い固いやつを根元までくつて十余町歩を丸坊主にしてしまいましたよ。

和田……私は徳島県と協力して草地の調査をしたことがあります、その時二メートル以上のカヤがボウボウと茂っています。

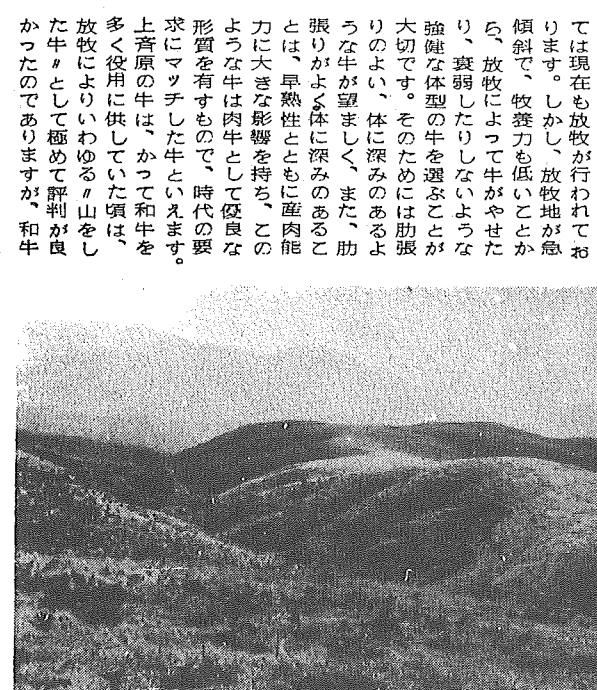
どうにもならない土地があったので対象外にしていたのですが、そこに乳牛を離して、ところどころで食べわ食うわで、秋ガヤに近い固いやつを根元までくつて十余町歩を丸坊主にしてしまいましたよ。

和田……私は徳島県と協力して草地の調査をしたことがあります、その時二メートル以上のカヤがボウボウと茂っています。

どうにもならない土地があったので対象外にしていたのですが、そこに乳牛を離して、ところどころで食べわ食うわで、秋ガヤに近い固いやつを根元までくつて十余町歩を丸坊主にしてしまいましたよ。

第1表 3 農家の概況

区分	M 農家	G 農家	指導指標
肉用牛 成牛	4頭	1頭	10頭
" 育成牛	4頭	3頭	0
" 子牛	3頭	1頭	9頭
水田	85a	100a	105a
畠	27a	34a	20a
採草地	200a	150a	0
放牧地	共同放牧場	100a 共同放牧場	500~700a
家族(農業)労働力	1.6人	1.8人	2.4人
肉用牛年間所得	?	?	267千円
耕耘機	1	1	1
カッタ一	1	0	1
サイロ	1 (1.5×3.6m)	0	2(3×6m)



恩原の上原の成放牧地

(a) G 農家
G氏も昭和三十八年から寒冷地等貸付
用成雌牛一一二頭にはまだ相当の時
日を要する段階であります。畜舎は自宅
に三房の單房と自宅から200mのこと
に借用の牛舎があつて構造、設備は良
いとはいが、牛舎数は多頭化して
も収容可能なだけ備わっています。昭和
三十九年においては、老廃肥育を行っ
たり、その他売買による牛の出入が多く
しかかる状態です。

(b) 指導指標の農家
この農家は県北の山村で肉用牛子牛生
産經營としての収益性は十分把握
されています。しかし、肉用牛部門での収
益は未だ望めない状態
で飼養牛の日令からみて昭和四十年中
には四頭の成雌牛が揃う予定です。

(c) 放牧に適す牛を
M、G農家ともに飼養している牛は
一般的に中以上の牛であるが、中に筋張り
の悪い足長の放牧に向かないものが散見
されます。肉用牛子牛生産經營では、夏
期は省力管理のうえから放牧に出すこと
が理想的であり、当村において
は現在も放牧が行われてお
ります。しかし、放牧地が急
傾斜で、牧養力も低いことか
ら、放牧によって牛がやせた
り、衰弱したりしないような
牛を生産しなくてはなりません。

(d) 繁殖成績が最も大切
M農家と、G農家の経産牛についてそ
の初産分娩月令をみれば、M農家の四頭
はそれぞれ三六カ月、三七カ月、三一カ
月、四三カ月、G農家の一頭は三二カ月
となつており、いずれも著しく遅くなっ
ています。これは、子牛の育成に際して
の増大をはかる計画であり、既に昭和三
十五年から国と県の助成による草地造
成事業を行つて、放牧地六二・五haを草生
な山林資源を利用した林業があるだけで
す。

苦田郡上齊原村の肉用牛子牛生産經營

◇畜産コンサルタント◇ 事例紹介

畜産会の行う畜産コンサルタント事業
により、今年度肉用牛部門で診断指導の
対象となつた苦田郡上齊原村地区的二農
家の肉用牛子牛生産經營について紹介し
てみたいと思います。また、二農家に対
する畜産コンサルタントの先生方の行
った診断助言の概要に併せて、畜産会の
畜産經營指導指標作成委員会肉用牛部会
で作成いたしました「肉用牛經營指導指
標」の子牛生産經營の部についても紹介し
てみたいと思います。

* 以前から

和牛の老舗

上齊原村は、岡山県の最北端鳥取県との
県境にあり、中国山脈の峰々に囲まれ
た山村であります。最高海拔一、二四七
m、最低五二〇mの寒冷地帯であり、冬
期降雪期間は五カ月、根雪期間は三カ月
に及び、岡山県としては蒜山と共に特殊
な気象条件を有す地域といえます。村の

牛を借り入れて、肉用牛飼養を始めたば
かりであります。G氏宅では以前和牛飼
養の経験があり、再び肉用牛子牛生産經
營を目指して取り組んだ訳であります。
G氏の場合、水田一〇〇haが一団地をな
して自宅に接しておらず、經營經營上極
めて有利な条件となつています。しかし、
肉用牛部門での収益は未だ望めない状態
で飼養牛の日令からみて昭和四十年中
には四頭の成雌牛が揃う予定です。

(1) M 農家
昭和三十九年より制度資金を活用して
多頭飼育による肉用牛子牛生産經營を目
指して出発したが、現在繁殖に供用でき
る素牛は四頭のみで、M氏の目標は繁殖
となりであります。

三戸の農家とは、上齊原村の畜産コン
サルタント事業受診農家二戸(M氏とG
氏)と、指導指標の子牛生産經營の部で
モデルとして考えられている一戸の農家
であり、それぞれの經營条件は第一表の
とおりであります。

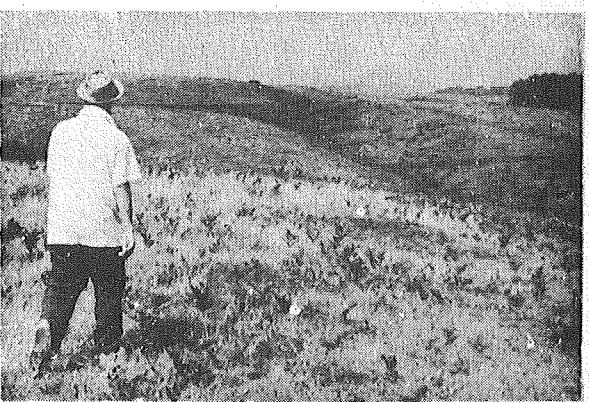
* 二戸の農家

再び和牛の生産地帯へ

栄養不足となつて発育が遅れ、従つて初種付時自令が遅れていることによるものと思われます。この原因としては牧野が荒廃しており牧養力が低いこと、更に放牧中の育成牛に対する濃厚飼料の増給がなされていないこと、放牧地の傾斜地を登り降りすることが無理な運動になつてゐるのではないか等が考えられます。

飼料を給与するだけ広い部分を草生改良して牧養力を高め、また、育成牛は全放牧期間中の三分の一程度は舍飼いにわたして濃厚飼料を給与することが大切です。

指導指標では、初産分娩月令二五九月を目標としていますので初種付月令は一



感原上の成放牧地

五、六ヶ月となります。

当村においては昭和三十九年度における和牛の子牛生産率は四〇%と著しく低くなっています。この原因としては、放牧時の看視不十分により牛個体の発情を見逃すことが考えられます。共同放牧場は一〇〇ha以上と広すぎるため放牧中、自分の牛がどこにいるか判らない場合が多いような状態では、発情の発見、種付けは不確底となります。そこで、感原などの大きな放牧場では、現在の牧区を実際に二、三牧区に区切つて輪換させ、牛の看視を徹底するようにする必要があります。また、こうすることによって草生の状態も改善され

ることになります。そこで、牛の看視を徹底するようにするには、繁殖成績をあげるうえに有利な飼養法として、指導指標で採用している季節種付けが行われることになります。即ち種付けを二月に行えば分娩は十一月になります。同時に種付けも分娩も舍飼期間中にあります。第一図に示すように利便性も十分に行き届くわけですが、一方母牛の方は、子牛を離乳して、濃厚飼料の別飼いも行つて、六ヶ月令に達したところから放牧されることになります。

G農家は三十九年度は子牛を販売していませんが、M農家の販売した子牛五頭の平均価格は、三万円を上廻る市場平均価格にはるかに及ばず二万五千円あります。現在、上音原村の子牛は津山市場でセリにかけられるものが殆んどですが、その平均価格は常に市場平均価格に劣っています。放牧期間中に生れた價格を生じ、濃厚飼料の別飼いも行つて離乳と共に販売します。一方母牛の方は、子牛を離乳して、妊娠した状態で五月中旬から放牧されることになります。

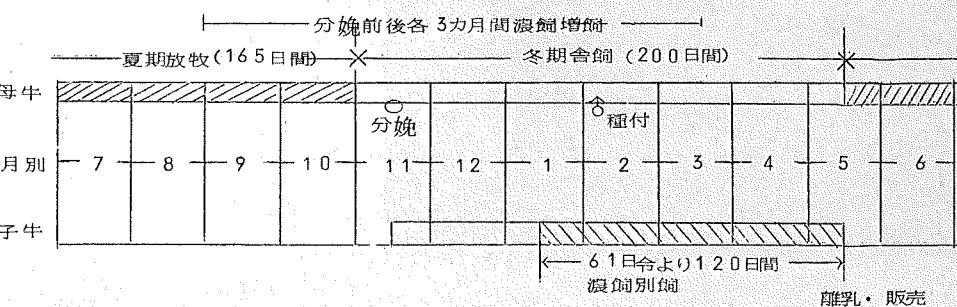
母牛は、子牛の離乳時（六ヶ月令）、体重雌一七〇kg以上、雄一八五kg以上を目標とし、発育のよい舍飼地の子牛にはかなわないのではないかと思われます。すつと放牧した子牛を出荷前何日間か飼い直しをしておけば、子牛が販売されるための年間にわたるため殆んど全部の子牛が後一日くらいで親牛につけて放牧に出すために発育が遅れ、いわゆる“これで離乳と同時に販売します。一方母牛の方は、子牛を離乳して、濃厚飼料の別飼いも行つて、六ヶ月令に達したところから放牧されることになります。

* 子牛を高く売ろう

G農家は三十九年度は子牛を販売していませんが、M農家の販売した子牛五頭の平均価格は、三万円を上廻る市場平均価格にはるかに及ばず二万五千円あります。現在、上音原村の子牛は津山市場でセリにかけられるものが殆んどですが、その平均価格は常に市場平均価格に劣っています。放牧期間中に生れた價格を生じ、濃厚飼料の別飼いも行つて離乳と共に販売します。一方母牛の方は、子牛を離乳して、妊娠した状態で五月中旬から放牧されることになります。

母牛は、子牛の離乳時（六ヶ月令）、体重雌一七〇kg以上、雄一八五kg以上を目標とし、発育のよい舍飼地の子牛にはかなわないのではないかと思われます。すつと放牧した子牛を出荷前何日間か飼い直しをしておけば、子牛が販売されるための年間にわたるため殆んど全部の子牛が後一日くらいで親牛につけて放牧に出すために発育が遅れ、いわゆる“これで離乳と同時に販売します。一方母牛の方は、子牛を離乳して、濃厚飼料の別飼いも行つて、六ヶ月令に達したところから放牧されることになります。

第1図 飼養管理の概略（指導指標より）



* 冬期の粗飼料対策を

肉用牛子牛生産經營においては、夏期は牛を放牧するとしても、冬期の粗飼料対策是非常に重要なことになります。M、G両農家とも冬期粗飼料対策は殆んどなされておらず、わずかに水田裏作、畑を利用しているので、稻ワラと少しばかりの畦畔の野乾草によつている現状です。当地方のようによつて積雪の多い寒冷作地帯では水田裏作の利用は比較的むづかしいのですが、ライ麦とイタリアンの混播栽培が雪覆れにも強く適しております。

親牛用の貯蔵飼料としては、経費その他の観点でサイロの建設をはかつて水田裏作による飼料作物を貯蔵しておく必要があり生草収量のうち一万kgを子牛の別飼中と見え、残り七万kgを親牛用にあてると指標では、水田裏作八〇aにイタリアンを作付し、一〇a当たり一万kgの収量を見込んで計算しております。八万kgの生草収量のうち一万kgを子牛の別飼中と見え、残り七万kgを親牛用にあてると

水も飲まない状態となり、一番大切な時に子牛が醜くなつて販売を不利にしている悩みがあります。これには、出荷前何日間かの間、生草給与をやめて乾草、濃厚飼料等の乾燥性飼料を与えるようにしまた、出荷の当日は水を飲ませず、津山に着いてから水を飲ませるようにして下痢を防ぐことが大切です。

指導指標では、水田裏作八〇aにイタリアンを作付し、一〇a当たり一万kgの収量を見込んで計算しております。八万kgの生草収量のうち一万kgを子牛の別飼中と見え、残り七万kgを親牛用にあてると指標では、水田裏作八〇aにイタリアンを作付し、一〇a当たり一万kgの収量を見込んで計算しております。八万kgの生草収量のうち一万kgを子牛の別飼中と見え、残り七万kgを親牛用にあてると

第2表 母牛および哺育、育成牛の飼養標準

（体重100kg当たり1日量）

	風乾	D C P	T D N	カルシウム	リン	カロチ
母牛	維持飼料	2.1kg	0.07kg	0.94kg	5g	4g
	妊娠中（分娩前2～3ヶ月）	2.8kg	0.13kg	1.38	6	5
哺育育成牛	生後3～6ヶ月	2.7kg	0.31	1.80	10	8
"	6～12ヶ月	3.0kg	0.26	1.60	10	8
"	12～18ヶ月	2.5kg	0.22	1.50	6	5

（指導指標より）

第3表 収支計算（試算）

区分	金額	備考
収支		
子牛販売代金	63,000円	
合計	63,000円	70,000円×9頭
支出		
濃厚飼料費	14,223.6	
粗飼料費	6,492.0	イタリアンライグラスは費用面から労働費部分を除いたものを単価として計算している
家族労働費	14,050.0	飼養管理、飼料作成、サイレージ調製など
償却費	9,735.1	母牛、建物、牧柵、サイロ、カッター、モーター等
施設費	3,000	水道、光熱料など
保険料	10,000	5,000円×0.02×10頭
衛生薬品費	5,000	500円×10頭
種付料	1,350.0	900円×1.5回×10頭
登記料	1,800	200円×9頭
販売諸経費	2,520.0	7,000円×0.04×9頭
合計	50,350.7	
純収益	126,493	地代、資本利子は考慮していない
所得	26,699.3	純収益+家族労働費

（指導指標より）

鶏のペスト

ニューカッスルの侵入をいかに防ぐ!!

一発生したらただちに保健所へ

鶏のペストといわれるニューカッスル病が、全国に拡がりかけてきはじめ、養鶏家は不安な毎日を送っている。岡山県にはまだはいつきてないが、昨年五月に四国の中の香川県、愛媛県にそれらしいものが発生し疑似と判定され警戒されていたが、七月には神奈川県に一〇万羽の発生をみたのを皮切りに近畿、九州、関東、中部地方に拡がり、年末には全国の発生数が一二五、三七五羽に及び、ついで年が明けてから一月末までに七九、三七七羽、合計二〇四、七五二羽が被害を蒙ったと報告されている。最近の発生状況並びに一月以降の発生地区は表のとおりであるが、感染経路はまだつかめてない。

県に緊急防疫対策本部を設置

先ず防疫対策本部としては農林省に対して、(1)冷冻チキンの検疫の強化、(2)発生を申告するのに障害になる殺処分に対する万全を期す体制を整えた。

鶏のペストといわれるニューカッスル病が、全国に拡がりかけてきはじめ、養鶏家は不安な毎日を送っている。岡山県にはまだはいつきてないが、昨年五月に四国の中の香川県、愛媛県にそれらしいものが発生し疑似と判定され警戒されていたが、七月には神奈川県に一〇万羽の発生をみたのを皮切りに近畿、九州、関東、中部地方に拡がり、年末には全国の発生数が一二五、三七五羽に及び、ついで年が明けてから一月末までに七九、三七七羽、合計二〇四、七五二羽が被害を蒙ったと報告されている。最近の発生状況並びに一月以降の発生地区は表のとおりであるが、感染経路はまだつかめてない。

一月十八日に愛知県豊橋市に三三、六〇羽の発生が確認された時に、新聞テレビが大きく報道したのをきっかけとして大きな反響を呼びおこし、岡山県でも農部長を本部長とする緊急防疫対策本部を設置、岡山県への侵入防止の対策を立て、万一对応するのに障害になる殺処分に対する万全を期す体制を整えた。

國の補助のつかないワクチンを入手すべく自下対策本部において、自衛用の注文を取まとめているが、岡山県の場合発



-15-

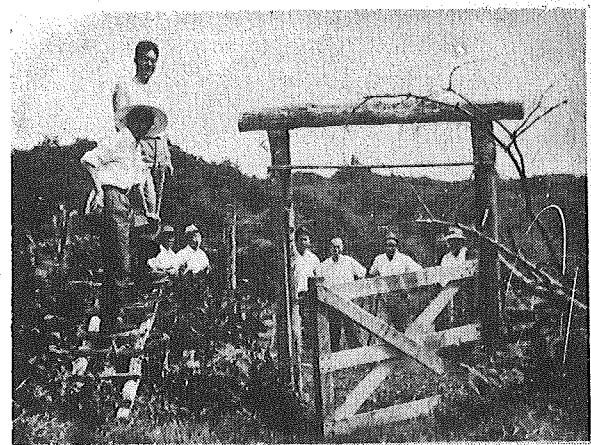
当面の予防対策

する手当ての手直し、③共助制度について国として検討、④ワクチンの増産体制の強化、などを要望すると共に、県内に対しテレビ、ラジオ、新聞により予防の徹底をPR。家畜衛生保健所体制の強化。末端組織の整備。古箱や飼料、食鶏の輸出入の動向調査並びに輸送箱を新規に切り替える指導。飼料会社、食鶏業者等に対して警告を発し、協力を求める。大規模經營者に対する重点指導など強力に進めることにしている。このために二月には県下九つの農林事務所毎に協議会を開き、実態調査と予防体制の強化にのり出ことになった。

また万一発生した場合には、ただちに家畜保健衛生所に知らせてもらうようにならぬ状態、香川県に疑似が発生した時、県として種飼用の三四万羽分のワクチンを農林省から獲得、そのうち二〇万羽余りを種鶏を対象に接種しているので、その残りの一三万羽分を緊急に送ってくれるようにならねばならないが、國としても緊急事態の発生で現品が送られてくるのは三月にならないと分らないという有様である。

しかし、現在県の手持ちワクチンは暫く無の状態、香川県に疑似が発生した時、県として種飼用の三四万羽分のワクチンを農林省から獲得、そのうち二〇万羽余りを種鶏を対象に接種しているので、その残りの一三万羽分を緊急に送ってくれるようにならねばならないが、國としても緊急事態の発生で現品が送られてくるのは三月にならないと分らないという有様である。

予防ワクチンが底をついている現状において当面の対策は、いかにしてニューカッスル病の侵入を防ぐかということにかかるっているのが、ワクチンが皆無の状態で決定的決手がないだけに①侵入の一番危険性のある鶏卵、ブロイラーの輸送箱を古箱をつかわないこと、②ヒナの導入に当つて、発生県及び疑いのある区域のものを購入しないこと、③人畜による病原体の搬入を防ぐために廢鶏、集卵業者など外來者の鶏舎の立入厳禁、消毒液を鶏舎の入り口に設け立入厳禁、消毒液を鶏舎の入り口に設けること。



放牧場入口に立つコンサルタント団員

肉用牛経営指導指標をご希望の方は、代金一三〇円（送料共）を添えて、畜産会へお申込み下さい。

上齊原村では、今後大きく和牛の振興を行わなければならぬことも多いようです。先ず広大な牧野の改良を行ない、同時に給塩、給水施設を設置し、牧区を小さくすることが大切です。給塩、給水施設には牛が集まり、したがって牛の看視が容易となります。次に、指導体制の充実も欠かせぬことで、専門技術を修得した指導員を採用して、村、農協が一体となって農家を指導することが必要です。

夏期放牧により極めて省力的な管理が可能であることは、本村の大きな長所であり、これを十分に生かして和牛振興にとり組まれるならば、伝統ある上齊原村が、再び和牛の生産地として脚光を浴びる日も近いことをどうぞ。

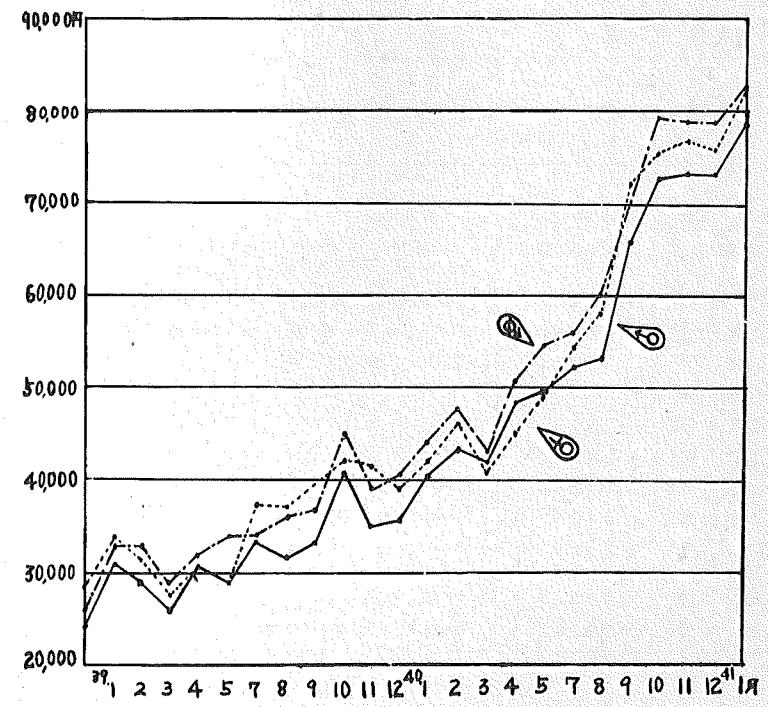
※ 採算は合う

M、G両家とも子牛生産經營としての本格的収益はまだ望めない段階ですが、第二回に見るとおり昨年中の子牛価格の急騰は、平均八万円に達するほどで、この価格が続けば、もうけが少ないとわれた子牛生産經營も、有利な經營が営めます。指導指標で試算した収支計算（第三表）では、子牛価格を七万円として計算し、あらゆる機械、施設の減価償却をみても、子牛一頭当たり三万円の所得をあ

げることができます。

※ おわりに

第2回 子牛平均価格の推移 (岡山県経済連)



-14-

④ エサ袋による感染も嚴重に警戒すること。

など農家の自衛手段の効用によって、病をもつて来ることに主力を置く以外にないということになる。

鶏が経営規模が大羽数化するにつれて予防衛生の面は特に重要視されてきたのであるが、ニューカッスルの予防の点か

らそれでも一般的衛生対策、即ち飼育環境の改善整備、鶏舎、器具の定期的消毒の効用、成鶏舎と育成舎の分離、廢棄や飼養廻場の防疫措置、各種予防注射の接種等を適格に実行していることが、危険の侵入防止に重要な役割を果すものであるから、今一度予防衛生に対する農家の関心を喚起することが大切であり、特

にニューカッスルがまん延しつつある機会に、根本的に予防衛生対策を考慮しなおすことが強く望まれる。

若し岡山に侵入

して来たら

万が一岡山県にニューカッスル病が侵入して來たら、早く県に通報することで

ある。最近の発生地の例をみると、一般的に届出の遅延から病性の決定がおくれたためにまん延した例が多いことからして、鶏に異状があつたら最寄の家畜保健衛生所に至急届出で、他への伝染を少限にいくべくするよう協力が欲しいものである。

ニーカッスルの恐ろしさは一般的に

表1. 最近におけるニューカッスル病発生状況

発生県	発生羽数	備考
神奈川県	98142	7月 12月再発生
奈良県	303	9月
和歌山县	10823	10月
福井県	11700	10月 11月再発生
大分県	4405	9月
計	125375	40.12.23現在
東京都	400	
静岡県	165	
神奈川県	13734	
福井県	34153	
愛媛県	23600	
大分県	6745	
佐賀県	580	
計	79377	40.12.24以降 41.1.31現在
合計	204752	

表2. 昭和41年1月以降におけるニューカッスル病発生状況

発生県	発生場所	決定月日	発生羽数	発生戸数
福岡県	筑後市	11.27	100000	約50
神奈川県	茅ヶ崎市下寺尾	12.12	2345	4
	相模原市下丸沢	12.27	407	1
福岡県	久留米市	1.7	1500	1
神奈川県	福岡市	1.7	2800	1
	愛甲郡愛川町中津	1.8	1501	2
	高座郡寒河町	1.8	1010	2
静岡県	横浜市戸塚区阿久和	1.8	165	1
東京都	静岡市中島	1.10	400	2
福岡県	世田谷区上北沢	1.11	500	1
	柏谷郡久山町	1.13	福岡市込	19
	三潴郡三潴町	1.16	9458	
	筑邦町	1.16		
	柳川市	1.16		
神奈川県	藤沢市	1.18	1450	1
	豊橋市北川二川天伯	1.18	23600	27
	八女市	1.19	5700	6
	八女郡広川町	1.19		1
福岡県	豊後高田市佐野	1.19	6745	7
神奈川県	相模原市	1.20	1749	1
	津久井郡城山町	1.24	2200	1
佐賀県	鳥栖市	1.25	580	1
	田川市	1.25	12000	1
	嘉穂郡嘉穂町	1.28	2300	1
神奈川県	相模原市田石上溝	1.29	5417	7
福岡県	柏谷郡柏谷町	1.31	1395	2

まだよく知られていないが、一九二六年に英國のニューカッスル地方に発生し、その病原がヴィールズであることが始まりで、その後欧洲、東洋の全域に発生したが、それ以後下火になっている。しかし一九四二年に東国に発生し根絶されたかにみえたが、戦後進駐軍の冷凍チキンが我国にこの病原を持ちこんで埼玉県下に発生し、大騒ぎとなつたことは記憶に新しいことである。我が国では大正十四年に奈良県下に発生し、初期より各地に散発したことがあった。当時の性病は極めて強くて死率は殆んど一〇〇%に近い歐州型で極めて惨事を呈したものである。最近における病性は緩慢で死率の低いアメリカ型が多いが、症状が複雑化し、アジア型と分類されるものがはやっており、病性が強くて死率一〇〇%（八〇%）に及んでいるので、特に警戒を要するのである。

二、ニューカッスルの病状

一、潜伏期 二七〇日 通常五日くらい

二、症狀 初徴は体温の上昇で四二・五

・四三度Cとなり、次いで元氣、食

慾の不振が認められ、緑色下痢便と殆んど同時に呼吸症が出現する。呼吸音または呼吸音が認められまた呼吸時頭を長く伸し呼吸困難の状況を呈する。の転帰をとるもの

は下痢が劇しく、元氣、食慾廃絶し鶏冠も暗紫色となり、一隅に併立しついに起立不能に陥りへい死する。また脚痙攣、頭頸部の神經病状が認められ、産卵中のものは産卵の減少若しくは休産する。

三、経過 急性的転帰をとるものは発病後四六日でへい死するが、最近における経過は七一〇日くらいであるとされている。

四、解剖所見

①卵巣の所見が一番著明で、卵巣の充出血、卵胞の融解、卵胞内出血、卵胞膜型、時に卵ツイ腹膜炎等が認められる。

②消化器の変状は一般に少なく、力タール性変状が認められるが、往々にして前胃粘膜の充出血が認められる。

なぜワクチンは

ないのか

農林省が製造許可をしている業者は僅かに日本生物科学研究所、化学及血清療法研究所など四社、このうち北里研究所は今年一月から、微生物化学研究所は昨年始まつばかりで、四社がついに生産しても年間生産量五千五百CCにしかならず、全県の鶏のうち十羽に一羽にしか接種できないという有様である。

農林省は生ワクチンは他の病気を誘発す

る恐れが強いと批判的な態度を示している。量産をしても薬の有効期間から一年しか備蓄ができない上に病気が出ないと需要がない、それに緊急用備蓄をしてもメーク一側の危険負担で行われているので、倒産をしてまで増産はできないというが計画生産のできない理由のようである。

農家側にしても一羽当たりの薬代が六円三十銭もかかるために、平常の場合は予防代もバカにはならないことになる。昨年秋にも県が予備のために三四万羽分の補助付きのワクチンを取得したのに、

したのが九万羽で、あとは希望がなかつたことなどがあった。

危険が身に迫ると注文が殺到し、危険がないと需要がないというところに今までの場合のようにワクチン不足の現象が生じることになるのであって、一拍発生すると直接被害県に集中的に配布され、他の県は配給停止の処置をとられるという有様になるのである。こうした不測の事態に備えて、この際ニューカッスル共済制度の検討も必要になつてくるであろう。

一方、一羽一羽注射をしなければならない死毒ワクチンではなしに、生ワクチンの使用を許すべきであるという声も高まっている。生ワクチンは、ときめきが早く免疫期間も長い。しかも噴霧や径口投与ができるなど使い方が簡単であるが、農林省は生ワクチンは他の病気を誘発す

る懼れがあるといふことである。絶対にワクチンがないから、國が保護をしてくれないから、といつている段階ではない。しかし、畜産が多頭羽化し、集団的になつている現在、防疫体制は根本的に考え方直す必要が痛感されるのである。萬が一に備えて、どうしても岡山県への侵入は防ぎとめねばならないことを、官民一体の協力体制が望まれるところである。

騒動が起ることになる。その上収入源をたたれひどい目に遭うのである。絶対にニーカッスルの侵入は防きたいも

のである。農家自身もニーカッスルの恐ろしさをよく認識して、自衛手段に力を尽す心構えこそが大切であろう。

農民をバカにしているかが、わかるではありませんか。また、いかに不勉強であるかも、私はいかんに思っているのです。政府の農林水産委員会を傍聴したのですが、その席上、ある代議士が、私は戦後外国から入ってきた低温殺菌法、低温で殺菌するなど判談がゆかないと言ったのを聞いたことがあります。戦後牛乳消費が伸びた一つの支えとなつたこの殺菌法を知らないのですから、お話をなりません。大学の先生も象牙の塔にこもって、これも信頼できません。これは、また一面、食品安全に対する衛生面が忘れられていることになりましよう。

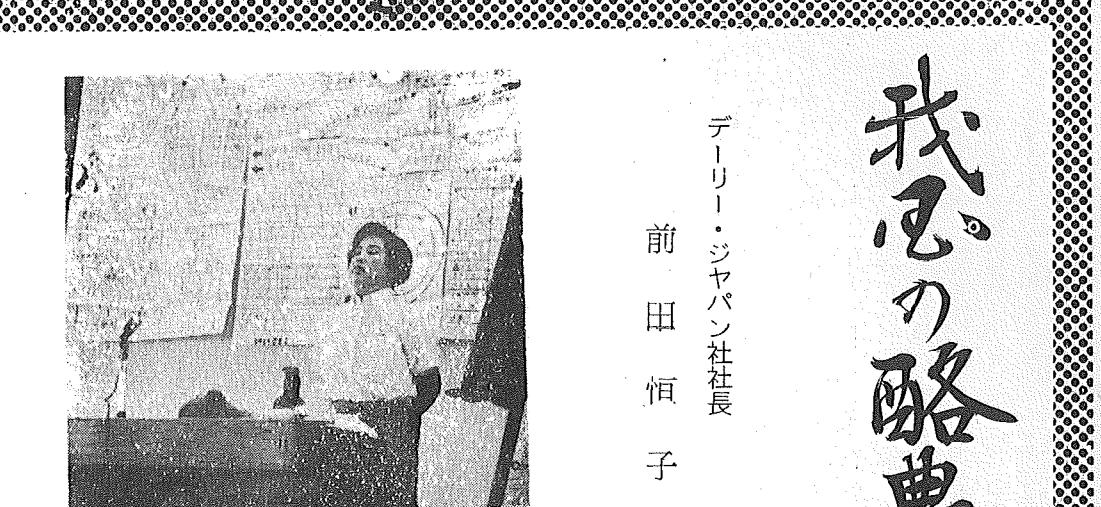
そこで、中央組織の団体を中心として農協は農民に利益を還元すべく系統利用を進めてきましたが、それでは今日、現状はどうなっているでしょうか。

そこで、農林省は関連産業を、農民を榨取するものとして今まで敵視していました。また、農林省は関連産業を、農民を榨取する状態です。それでは、農協は何をしていました。

* * * * *

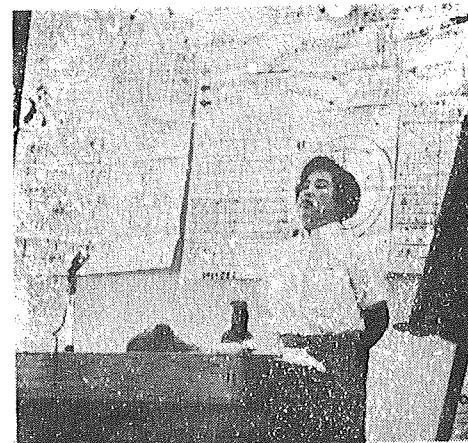
そこで、中央組織の団体を中心として農協は農民に利益を還元すべく系統利用を進めてきましたが、それでは今日、現状はどうなっているでしょうか。

そこで、中央組織の団体を中心として農協は農民に利益を還元すべく系統利用を進めてきましたが、それでは今日、現状はどうなっているでしょうか。



デーリー・ジャパン社社長

前田恒子



我が酪農乳業、産業の将来

私は畜産学校を卒業したものではなく、ジャーナリストからこの道に入ったもので、技術的なことは何一つ申し上げられませんが、北海道から九州まで全国を、この目で見、感じたことを、そして政策経済的な面から酪農について話してゆきたいと思います。

今まで、衣食住を全国民に供給してきた農業が、戦後二〇年、目を見開かなければならぬ時がきていました。朝起きてから夜になるまで、我々の衣食住にはあらゆる産業が侵出していきます。東京の例を挙げますと、朝、昼、晩と、三食米の飯ばかり喰っている人は二割、二食を米食する人は五割、一食のみ米食の人は一割、そしてせんせん米食していない人もかなりいると思われます。戦前の牛乳生産量二一〇万石を一、七八万石にまで伸ばしてきたのは、若い青年層なのです。農林省が農業基本法を制定し、鳴物入りで奨励してきた酪農も、現在国民一人当たりの消費乳量にして

みると、年間たつたの一・六八キログラムです。欧米各国の平均は一四〇キロから一八〇キロです。我国を食事の面から眺めるならば、欧米に比べて約三〇年遅れているわけになります。このことは、まだ畜産の伸張余地は十分にあることになります。そのためには、全関係者が團結して、日本の農政を正してゆかなければなりません。

* * * * *

農林省は、毎家の生産を指導し、毎家の生産したもののも、有利に販売できるよう便益を図るのが、当然ではなかろうと考えられます。欧米の先進諸国をみると、相当の経費をかけ、テレビ、ラジオを通じて政府が宣伝をしています。ところが、日本ではかって、甘いどこぞのリンゴを喰って下さい、新鮮な牛乳を飲みましょうと、先頭に立って消費宣伝に力を入れてくれた代議士が、大臣がいたでしようか。いかに日本の政治家が

一 ブラジル移民と鶏移養



一 ブラジル移民の里帰り

～ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~

岡山県から戦前戦後を通じて海外移住をした人は、昭和四十年十二月末で二万三百二十名あります。

このうちブラジル国へ移住された人は六千四百三十九人ということと、で、三一パーセントにのぼってお

ります。現在日本から移住された人、これに二世、三世を含めますと、ブラジル国で活躍している日本人は約五十万人といわれております。

現在日本から移住された人、これに二世、三世を含めますと、ブラジル国で活躍している日本人は約五十万人といわれております。

移住された人達全部が成功というわけにもいきませんが、数十万ヘクタールの土地を持つて、何億という財産をつくっている人もありますが、これだけの距離を輸送してもなおかつ十分採算がとれるのです。

川崎——ブラジルに渡られて專業整鶏リオデジヤネイロまでが四百キロあります、これがだけの距離を輸送してもなおかつ十分採算がとれるのです。

川崎——養鶏経営からみて、日本では好不況の波がありますが、ブラジルでもあります。やはりあります。一年の八月から九月の二ヶ月間は、毎日、日本円にして二万二千五百円損をしました。

川崎——やはり三年で、昭和三十九年から四十年にかけて、有史以来の不況が最も続いたのです。一般的にみて養鶏業は三年周期で好不況の波があるのですが、ブラジルではどんな波が現われるのですか。

小沢——やはり三年ぐらいの周期です。ところが、ブラジルでは、転業が非常に簡単なのです。にわとりを飼っていた人たるが、それが最近になって、ようやく白い卵も消費者にうけるようになり、急速に発展してきました。国内の需要を覚えるようになってきました。将来は、地球の南北球と北半球では産卵の状態がまるで反対なのですから、その点を利用して輸出も考へているのです。

川崎——一般に不足しております。それで、長距離の輸送をして出荷してもまだ儲かる状況なのです。私の所（サンパウロ州バストス市）から首都ブラジリアまで一千キロ、サンパウロまで

～ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~

首村モジダス・クルーゼス市）、水本春造（賀陽町サンパウロ市）、小沢勇（津山市バストス市）、この二月には牧野末吉（吉備町サンパウロ市）が帰国されるとの便りがあります。

この度小沢勇氏（津山市神戸出身、昭和八年、農業移住）が帰郷され、それを機会に県養鶏試験場を視察され、その際川崎場長と小沢氏との対談を行いました。

この度小沢勇氏（津山市神戸出身、昭和八年、農業移住）が帰郷され、それを機会に県養鶏試験場を視察され、その際川崎場長と小沢氏との対談を行いました。

お願いして、職員と講習生諸君との懇談を行いました。

取材編集については畜産会にお願いしたものであります。

ブ拉斯チルの養鶏業は、日本のそれと比べると技術的にも経営的にも比較にはならないようですが、そういうやり方でも経営が成りたつております。移住が始まっていますが、僅か半世紀の間に、日本人ほど各々が半世紀の間に、日本人ほど各自時に忘れたことのない郷土を訪れる人が多くなってきております。

岡山県出身の人達も永い間の苦労が酬いられ、生活の安定を得て、片時も忘れたことのない郷土を訪れる人が多くなってきております。最近では、武田和也（備前町サンパウロ市）、小野安一（船穂町サンパウロ市）、石田正輝（奥津町カンピーナス市）、吉沢信治（清

（海外移住事務団岡山県事務所）

（大田英州）

～ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~

ブラジルは全てに恵まれています。

川崎——過去は副業的な養鶏ばかりで成功されている小沢さんに、ブラジルの農業のことを、とくに養鶏についていろいろな事をおしえていただき、私どもの参考にもいたしました。

小沢——以前は白い卵は売れられ、赤い卵や濃色の卵しか売れないかったのです。それが最近になって、ようやく白い卵も消費者にうけるようになり、急速に発展してきました。國內の需要を覚えるようになってしまった。将来は、地球の南北球と北半球では産卵の状態がまるで反対なのですから、その点を利用して輸出も考へているのです。

小沢——一般に不足しております。それで、長距離の輸送をして出荷してもまだ儲かる状況なのです。私の所（サンパウロ州バストス市）から首都ブラジリアまで一千キロ、サンパウロまで

が五百六十キロ、さらにサンパウロからリオデジヤネイロまでが四百キロあります、これがだけの距離を輸送してもなおかつ十分採算がとれるのです。

川崎——養鶏経営からみて、日本では好不況の波がありますが、ブラジルでもあります。やはりあります。一年の八月から九月の二ヶ月間は、毎日、日本円にして二万二千五百円損をしました。

川崎——やはり三年で、昭和三十九年から四十年にかけて、有史以来の不況が最も続いたのです。一般的にみて養鶏業は三年周期で好不況の波があるのですが、ブラジルではどんな波が現われるのですか。

小沢——やはり三年ぐらいの周期です。ところが、ブラジルでは、転業が非常に簡単なのです。にわとりを飼っていた人たるが、それが最近になって、ようやく白い卵も消費者にうけるようになり、急速に発展してきました。國內の需要を覚えるようになってしまった。将来は、地球の南北球と北半球では産卵の状態がまるで反対なのですから、その点を利用して輸出も考へているのです。

小沢——そうともいませんが、これから夜の明けてゆく國ですか、すべての面で有利な点多いでしよう。

川崎——それでは、ブラジルでは農業関係は恵まれているのですね。

日本人がブラジルを開拓しました。

これからは技術を身につけて！

川崎——開拓していく場合に、他国の人いるやらわかりません。

苦労をしたけれども、我々は大和民族の子孫であるという誇りと根性をもつて國の名譽にかけてやりとげようという気持で苦難の道を乗り越えて、成功してきたのです。そして、さらに子弟の教育

勢力があまり強く入ってくると問題が生じてしましますが、その点からして、本心から日本に期待しているのか、また影響を恐れてある程度敬遠しているのか、そのへんはどうなんですね。

本田——その点についてちょっとと話させていただきたいのですが。

川崎——開拓していく場合に、他国の人いるやらわかりません。

じてしましますが、その点からして、本心から日本に期待しているのか、また影響を恐れてある程度敬遠しているのか、そのへんはどうなんですね。

-21-

-20-

さっき小沢さんが言われたように、ブラジルのアマゾン河流域などには未開の土地が莫大にあって、これを日本からどんどんやってきて開拓してもらいたいという実感が、現地にいる人々には実際に湧いてくるのです。しかし、私達海外移住事業団の立場上、ひとこといわせていただきたいことがあります。

昔、ブラジルに渡った移住者の方は、言葉が悪いかもしれません、日本はどうにもならなくなつたから、向うにいつ一旗あけようという考え方の人が割合多かつたのです。しかし現在では、事業団としては定着ということを第一に考へているのです。一般の移住者は、前に言つたような事情の人が多いわけで、測量もしていない、道路もついていないような土地に入植したのは経営の確立ができないのです。そこで事業団としては、今後は新しい入植地の取得は自分の間ないこととして、現在、既存の土地について測量をやりなおすり、道路を整備したり、その地域の農業経営はどうしたらよいか等々、経営の基礎を確立して定着をとすることを考えておりまして、多少小沢さんの話とはニュアンスの違うところもありますが……。

小沢さんとお話しするに当たっては、たゞ一旗あけようという考え方の人が割合多かつたのです。しかし現在では、事業団としては定着ということを第一に考へているのです。一般の移住者は、前に言つたような事情の人が多いわけで、測量もしていない、道路もついていないような土地に入植したのは経営の確立ができないのです。そこで事業団としては、

技術を身につけている人、ブラジルで経営の確立ができるくらいの資金を持っている人に期待しているのです。

川崎——そこに時代の移り變りもあるうに、旺盛な開拓精神が必要で海外で成績しているような人は、日本においても成功している人だという話をよく聞きますが、努力の結果が成功となつて現われたのだと思いませんか。

本田——小沢さんも当時の津山中学を出ておられるのです。津中といえば相当の学歴です。どんなきっかけで移住されたのか、うかがいたいと思つていますが。

本田——小沢さんも当時の津山中学を出ておられるのです。津中といえば相当の学歴です。どんなきっかけで移住されたのか、うかがいたいと思つていますが。

手さぐりで

養鶏を始めました

川崎——それでは一般的の状勢はわかりましたので、こんどは小沢さん自身のことについていろいろお聞きしたいのです。

高遠な精神をもつて努力されたのでしょうかが、ブラジルにいかれた動機、努力されていった過程についてお聞かせいただきたいたいのですが。

小沢——いや、私の動機と申しません。

川崎——それじゃ八万五千羽はどうですか。

小沢——私がむこうを出るときに産卵率、破卵率、飼料の使用高で決めます。

川崎——そこまで管理の仕方はどうや

川崎——三ヶ月の純益が八百万円です

小沢——私もむこうを出るときに産卵率、破卵率、飼料の使用高で決めておられます。

川崎——六十キロ入りのドングロースが一枚二百三十クロゼーロス（四十六円）です。

川崎——産卵率はどの程度ですか。

小沢——七二パーセントでした。

川崎——ブラジルの養鶏で問題点もいろいろあると思いますが、最も大きな問題点は何でしょうか。

小沢——私が日本で一番勉強して帰ったのは衛生についてなのです。その他には、そうせつぱつまつたものではなく、割合に恵まれていると思います。

川崎——どうもいろいろ参考になる話をありがとうございました。

小沢——七町五反ぐらいあるでしょう。そして全部バタリー式です。むこうは金属が高くって、針金も日本から輸入しているような状態ですが、木材は無尽蔵にありますからね。

一羽単位の計算は

したことありません

でもうも、三十年も前のことですから海外に出て勇飛してみたいという気持ったのでしようね。

海外にて伸びるかどうかは、その国民性によると思うのです。ドイツ人も多くブラジルに渡り成功していますが、これも国民性によると思います。それが一番よくあらわれたのが世界大戦の時です。ドイツが負けたという知らせが入った時に、街をゆくドイツ人の中で、頭を上げ歩いているものは一人もいなかつた。ところがイタリアが負けた時、イタリア人は、戦争がすんだ、戦争がすんだといつて、ビールを抜いて乾杯しておりました。といって、日本が負けた時、涙を流した日本人は一人もいなかつたですね。

しかし戦前、日本という一小国が三大強国に列せられるようになつた誇りと、戦後二十年にしてこれだけの復興をなしとげた気はくが大きい活躍したのがブラジルの天地だと思うのです。そして日本人は成功する割合がたしかに高いのです。

川崎——移住した当時は、どうされましたか。

小沢——私は労働移民として渡ったのです。コーヒー園に入つて働き、その後大地主から二年間契約で土地を借りて現地人に切り開いてもらい、焼畑にして種がまけるようにし、そして綿を植えたのを始めました。

まあ、ブラジルでは幼稚で粗雑なもので、熱心な人達が実り集つて研究もしましたが、最初私らがバタリーフィーダーを始めたときには、こんなことをして卵を産むものかといわれたのです。しかし、成績がいいものですから、最近では観察者が多い日には八組も来ます。その距離も近い所で二〇〇～四〇〇キロから、遠い所では三、〇〇〇キロ以上も車を飛ばしてやつてくるのです。

それで、内地で労働の経験のないものが、まったくの原生林に立ち向つたわけで苦労しましたが、六年間働き、一応日本に帰つても安樂に暮せるだけの金をためました。しかし当時は戦前でもありましたので、もうひとつんぱりをということで頑張つてきました。子供達もよくやつてくれたものです。

そして、バスト斯に土地を求めて入植しました。そこで蚕糸をやつておりましたのが、先だつては三十ダース入りの箱が二十コント（四千円）しておりました。こ



酪連だより

秋期高等登録審査成績

40年度秋季高等登録審査は日本ホルスタイン登録協会より桑島 審査員を迎え、関係機関のご協力により11月25日より12月11日までの17日間実施した結果、下表の成績を得ましたのでご参考に供します。

なお、41年度春期審査は5月頃実施の予定です。

得点組合名	750~755	756~760	761~765	766~770	77.1~77.5	77.6~780	781~785	786~790	79.1~795	79.6~800	頭数	平均得点
北部	2	8	18	21	14	6	2				71	76.7
美作	1	7	12	5	3	1					29	76.5
浅口			1		1						2	76.9
芦井		2	2	3							7	76.4
山陽		3	6	4	4	7	1		1		26	77.1
矢掛	1		4								5	76.1
美星		2	6	1	3						12	76.5
高梁	2	2	2	4	1						11	76.4
北房		1		1	1		1				4	77.0
賀陽	1	2	1	1							5	76.1
加茂川			1	1	1						3	76.8
岡山											3	76.7
児島		2	1	1							4	76.2
和氣				2		1					3	77.1
旭東			2	3	5		1				1	77.3
県酪試			1	1	1		1				4	77.4
計											201	76.7

種雄牛審査成績（酪農試験場緊急）

名号	登録番号	生年月日	品種の特徴	肩・背腰	尻	前肢	後肢	頭・蹄	皮膚	被毛	墨丸
マラソン ベッス バーグ フォーブス	36732	35.11.7	85	84	83	83	83	85	85	85	85
アーレチエ コランサス バレー	36986	36.2.7	88	87	85	84	83	86	86	86	85

乳頭	前肋	肋腹	決定得点
剖割部	胸		
81	82	82	83.6
83	84	86	86.0



酪連だより

昭和40年度第3次

寒冷地向け県有貸付乳牛の購買斡旋状況

1月17, 18日の2日間久世町へ貸付される県有貸付乳牛の購買斡旋を実施し、1月24日無事検査を終りましたので状況をお知らせします。

組合名	購買頭数	現地平均価格
北部酪農協	40	74,000円

なお、本年度第4次購買は2月の予定です。

生乳生産量調べ（県酪連取扱数値）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
三 九 年	1等乳量 t 5335	5,162	5893	5947	6429	5,787	5026	4748	4598	4682	4525	4869	63,001
	2等 " 37	28	39	132	44	104	167	169	179	74	32	26	1,031
	2等乳率 % 0.694	0.541	0.668	2,169	0,686	1,762	3,209	3,432	3,756	1,572	0,696	0,536	1,610
	脂肪率 % 3,638	3,626	3,563	3,495	3,428	3,418	3,461	3,481	3,551	3,660	3,701	3,725	35,62
四 十 年	1等乳量 t 5,197	4,906	5,801	6,086	6,564	5,617	5,007	5,057	4,842	4,911	4,732	5,105	63,825
	2等 " 26	31	41	41	67	105	162	103	94	50	51	30	807
	2等乳率 % 0.499	0.634	0.800	0.673	1,003	1,841	3,131	2,004	1,914	1,021	1,064	0,592	1,249
	脂肪率 % 3,695	3,643	3,619	3,530	3,460	3,465	3,482	3,498	3,572	3,713	3,704	3,749	35,94
	対前年乳量比 % 97.2	95.1	98.6	100.8	1024	97.1	99.5	1049	1033	1043	1050	1049	1009

(注) シヤーシー種を含む

第4回全日本ホルスタイン共進会出品牛決定

既報のとおり第4回全日本ホルスタイン共進会は来る3月18日より22日までの5日間福島市において開催されますが、本県からの出品牛について関係者より数次の選抜審査を実施した結果下記4頭が県下3万頭の乳牛中より晴れの代表牛と決定いたしました。共進会は酪農事情の好転にともない極めて盛況が予想されますが、本県からも多数参観され、これら代表牛に多大の御声援を頂くと共に将来のホルスタインの改良方向等について充分御研究されるようお願い致します。

名号	登録番号	生年月日	血統父・母
ホームステッド ウォーカー バーグ アスター	715136	39.12.5	第2 ウォーカー アーレチエ パレード ホームステッド ウォーカー アドミラル バーグ
シエバード エム・サイア グローリー ベッス	702344	39.1.22	第15 エム・サイア ウォーカー ロベリ シエバード クローリー レイクサイド ロメオ
ホープ ホロー イムペリアル ヘーロ	640270	39.1.17	コノマー サー ホロー ロメオ ホープ ガヴァーナー グレーティエ ヘーロ
セシス ガヴァーナー ¹ グラハム アイダー ²	421377	36.7.2	第60 カーネーション ガヴァーナー ¹ イムペリアル ラッド セシス ガヴァーナー バーク プライド ² 谷森 清助

連絡 経済

将来現況について

畜産だより

冬期の豚子にについての理管期と現況について

日本経済の昭和四十年は不況沈滞ムードに包まれたまゝ、この年に新しい年を迎えたのであるが、高度経済成長の谷間に取残された和牛にとって波乱に満ちた一年であり、低迷する暗雲を払いのけ曙光を浴びる契機となつた年でもあったと思います。

沈滞久しき和牛界にとっては、ここに迎えた新春こそ明るい前途に希望を抱き、まことに輝かしく意義深いものがあり、農家の皆様と共に御同慶の至りに存じます。

拡大成長部門である畜産の中でも比較的はなづ飼育、養鶏のそれにくらべ、この和牛についてはその形態は極めて素朴であり味であるだけに、やゝもすればあらゆる面で等閑視されることがあります、まことに残念に堪えないものがあります。

そこで、これから一大転換を画來について、お伝え致してみたいたいと思います。

一、一般情勢

昭和三十七年以来、和牛価格

は低迷の一途を辿り、生産減少と食肉消費の増大のためここ数年間に飼養頭数の著しい減退を来し、わが国食肉需要上まことに憂慮すべき事態に立ち至ったのであります。

そこで肉用牛（従来和牛と呼んでいたが、近年この用途のうち、役利用面が殆どとなり主として肉用となつたため肉用牛とも称する）については無為無策をもつて任する農林省としても食糧自給五ヶ年計画どころではない、これでは大変と全国和牛協会（昭和三十八年中国和牛協会を発展的解消し全国的な和牛の政策団体として発足、本県出身小松代議士を会長とする）の熱心な意見を漸く取り入れ、畜産局と和牛審議会を設けて調査研究した結果、昭和四十一年度畜産局における最重要事項として生産增强をはかることと、後述の事業を実施されることとなつたのであります。

一方、肉用牛の殺頭数は年八〇万頭を数え、生産頭数は四八万頭に減少し、また食肉消費は年約一〇%を上廻る伸びを示す中で、生産消費のアンバランスはますますはげしくなつて来ている。

全国和牛協会としては、子牛価格の高騰はしたとはい、生産性は低く多産化も容易でなく且つ価格の変動に一抹の不安もあり、依然生産は伸び悩みの現状に

あるため、価格安定対策を必要とするので和牛政策研究委員会（畜産局、学識経験者、畜産関係者を委嘱構成する。本会議はこの委員の一人である）において引き続き必要政策の研究が進められている。

二、頭数の傾向

全国の和牛飼養頭数は昭和三十一年の二七〇万頭をピークに、その後肉食の消費増大のため遂に減少を示しているが、殊に昭和三十八年以降の減少は夥しく、昭和四十一年においてはその数実に一七〇万頭を下廻ることとなつた。

三、流通

肉用牛の主たる流通は家畜市場を中心に行われている。またこれらに参画するものは主として家畜商であり、いま県下で免許をもつてゐる者がおよそ一、二〇〇人あり、これを県下の肉用牛飼養頭数からみると家畜商一人当たり六〇頭、集散地市場に集まる頭数（三四、〇〇〇頭）からみると一人当たり三一頭の割合

となり、飼養頭数、流通家畜の頭数にくらべ業者の数が如何に

現在豚価は非常に高く、養豚

家にとつて今年は非常に良い年

であった。養豚において子豚の

育成が経営のポイントであり、

優良な子豚を育成するにおいて

冬期が一番困難であります。次

に衛生面からの管理について述べみたいと思います。

第一表を参考にして、自家経営を反省していただきたいと考えます。

冬期において子豚管理はまず第一に防寒保温です。現在各種豚においては殆んどデンマーク式豚舎であり、柵をして区別しているのが実態です。温源は赤外線電球か、またはトンドルなる便利なものがありますのでご照介しておきます。

トンドル（電気保育器）

- ① ベット（発熱箱）が適温で暖められるので、未熟子豚の哺育でも良い成績を示し、火災の心配もない、居住性も良い。
- ② 消費電力はリモコンサーモ「遠隔操作自動温度調節器」を使用して一日三〇円前後、

豚舎全体をピニールカーテンがムシロにて外界とを区別し、保温に努めることができます。次ぎに下痢の防止を計ることが重要です。子豚育成において下痢防止を克服すれば八〇~九〇%育成に成功したと言つても過言ではありません。下痢の原因と考えられるものに母乳、冷え腹、不潔、寄生虫その他があります。そこで次の点をぜひ励行していただければ、まず心配ないと考えます。

① 母豚に鉱物質（微量成分）を出産一ヵ月前後から泌乳中にかけて投与する。母豚体内においての子豚の育成を促し、産後においては良質な母乳を泌乳する。药品名ではナーリンか日産ミネラル、またはネオコロイカルを投与すれば良い。一日一〇

② 母豚に鉱物質（微量成分）を出産一ヵ月前後から泌乳中にかけて投与する。母豚体内においての子豚の育成を促し、産後においては良質な母乳を泌乳する。药品名ではナーリンか日産ミネラル、またはネオコロイカルを呼んでいるのに鉄剤（トンキーバー、ベビートン）の注射があり、好結果が出ています。生後三日と七日間に二cc、三〇~三四〇日に追加注射二ccするもので、下痢防止、発育促進に確かに良好効果がある。

③ 鉄剤の注射／最近ブームで消毒する。分娩前一回は必ず水洗後、逆性石鹼（シアンゾール、オスバン）一〇〇倍液）に消毒や水洗いをして心配がない。

子豚の下痢を防ぐ

第1表 岡山県下の産子頭数及び子豚育成率

1 腹 1 回 産子 数	県にて出している目標	育成率 (生後 2ヶ月)
Lana 10 ト York 8 (現在平均)	年 16~20 ト	83%~88% (現況)

第2表 トンドルによる冬期子豚育成率

腹 数	産子 数	1 腹 平均頭数	子豚 平均 体 重			下 痘	哺 育 率
			生 時	1 0 日	2 0 日		
6 ト	67 ト	11.2	1.38 kg	3.31 kg	6.05 kg	8.2 kg	皆無 97.01 %

④ 生後三〇日前後くらいに駆虫薬を投与して、回虫、条虫、鞭虫に対処するのが理想です。三日と七日間に二cc、三〇~三四〇日に追加注射二ccするもので、下痢防止、発育促進に確かに良い効果があります。

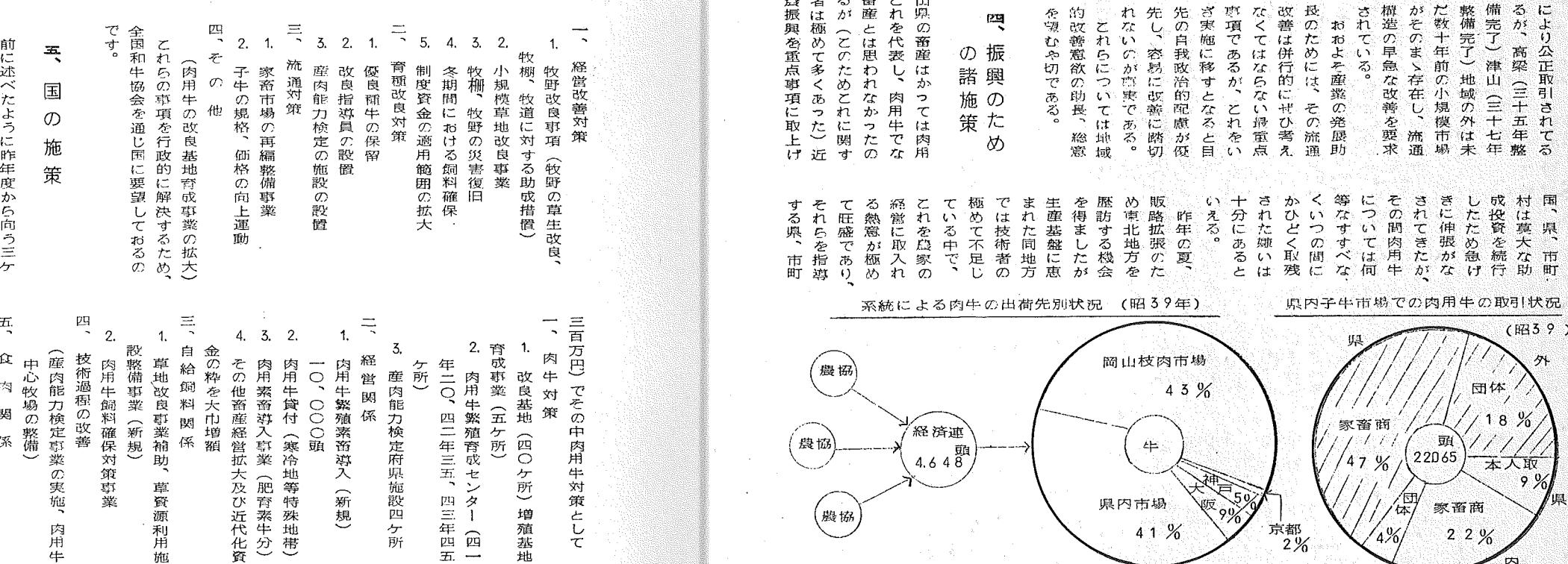
以上で、その他換算等に十分注意して、優良な子豚を育成するよう努めましょう。

村もまた酪農振興と同様の取組み方をしていることには感心しました。

変った事業としては、山畜畜産補助事業といって市町村または農協が事業主体となり、春から秋にかけて乳牛、肉用牛を農家から預り里山を牧野改良（多くの牛を集中的に限った牧区に放ちその蹄によつて耕し牧草を撒き育つて行く方法による。これを深耕法といつ）したものに放ち、または舎飼し晩秋になつて農家へ戻すこととなつてゐる。農家は家畜を預けた期間は耕作一本に打ち込み、冬期間の自給飼料の準備あるいは安心して出稼ぎに出で、積雪時に家のなかで家畜の世話をするという仕組みとなつていて。このような東北、北海道、九州地方においては恵まれた土地条件をもつて将来的に発展が約束されるだろうが、われたものを生産する要素即ち生産、育成のための極めて優れた技術者が多く、それらの生産に適した気候、風土に恵まれているために、主として種畜の供給の役割を果すことが望ましいかと考えられる。これらの観点に立つて、振興のための諸策を講ずるべきであろうと思う。

肉用牛生産改良のための対策として、先づ次の事項を早急に実施されることが要望される。

五、国の施策



により公正取引されているが、高梁（三十五年整備完了）津山（三十七年）で数十年前の小規模市場がそのまま存在し、流通構造の早期改善を要求されている。
おおよそ産業の発展助長のためには、その流れを止めることなくはならない最重点事項であるが、これを改善は併行的に行なうべき考え方であります。これがいま実施に移すとなると目先し、容易に改善に踏切れないのが現実である。
これらについては地域的改善意欲の助長、総意願を団体により、セリ売り方式であります。このためには、その自我政治的配慮が優先されるべきであります。
このためこれに関することもあるが（このためこれまで常に伸張がなされた嫌いはございませんが）、これをいざ実施に移すとなると目標はどこまであるかはわからないのである。

四、振興のための諸施策

岡山県の畜産はかつては肉用牛でこれを代表し、肉用牛でないと畜産とは思われなかったのであるが（このためこれに関する識者は極めて多くあった）近頃畜産を重点事項に取上げ

一、經營改善対策

1. 牧野改良事項（牧野の草生改良、牧棚、牧道に対する助成措置）
2. 小規模草地改良事業
3. 牧棚、牧野の災害復旧
4. 冬期間における飼料確保
5. 制度資金の適用範囲の拡大

二、育種改良対策

1. 優良種牛の保留
2. 改良指導員の設置
3. 生産能力検定の施設の設置

三、流通対策

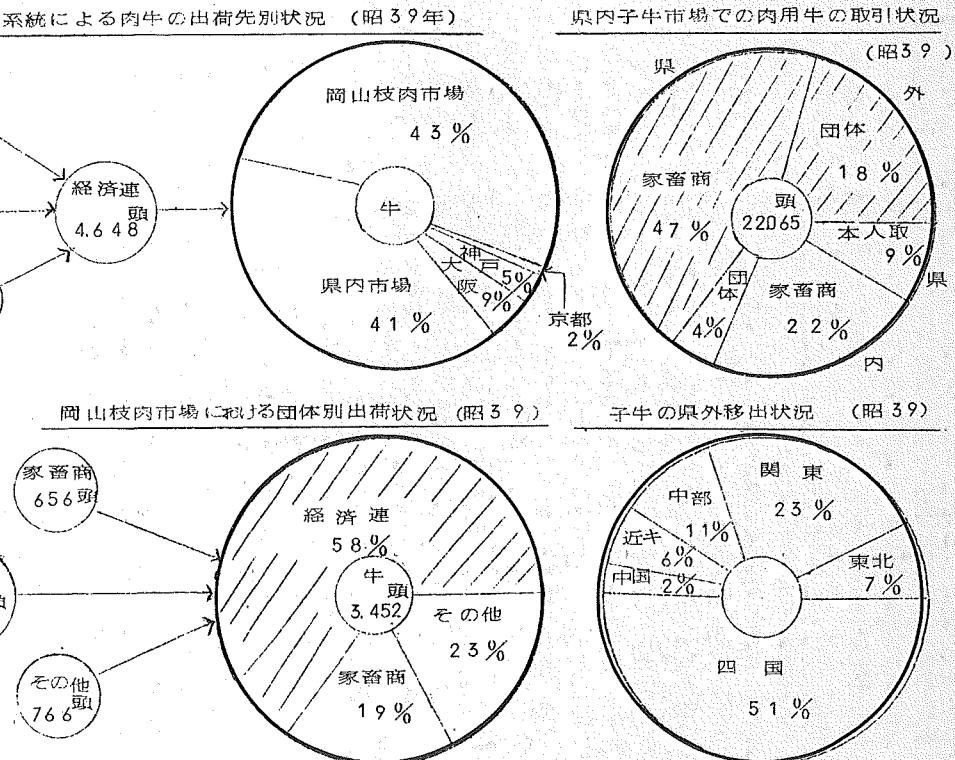
1. 家畜市場の再編整備事業
2. 子牛の規格、価格の向上運動
3. 全国和牛公会を通じ国に要望しておるのです。

四、その他の

1. (肉用牛の改良基地育成事業の拡大)
2. (肉用牛飼料確保対策事業)
3. (技術過程の改善)
4. (産肉能力検定事業の実施、肉用牛中心牧場の整備)
5. 食肉関係

三百六十万円) でその中肉用牛対策として

子牛価格は昨年下期より急げきに上昇したが、明年度において生産増強のところがあるのに、更に上値が予測され、特にメスの高値は必至だろう。しかし生産（供給）の方は価格の好況に刺激されて肉用牛の生産ムードがそこまで盛り上がっているが、資金難、飼養基盤の乏しさ、あるいは回転率等の諸条件は依然払拭されないので、今年前半においては昨年にくらべやや減少を示し、後半に至って僅かの増加が見込まれると思う。



謹賀新年

観光旅館 明月 閑静でうまい料理 岡山市内山下 電 23-6333	牛会 和協 全国登岡県支部 支部長 藤井英一郎 岡山市桑田町1~2 電話 ②8505	蒜山地区酪農技術員協議会 会長 上原藏喜 かつぼう有明 ②0547
---	---	--

(“肉豚の生産は改良された
優良種豚の一代雑種で”)

岡山県種豚改良協議会
会長 熊本強

岡山県人工授精師協会 会長 惣津律士	卵と鶏肉を食べましょう 岡山県養鶏協会 会長 惣津律士	岡山県酪農振興協議会
-----------------------	-----------------------------------	------------

岡山県草地協会

会長 佐藤一郎

役員一同

岡山市内山下県庁畜産課内 Tel ②2111 内線 472

本誌の予約申込要領

編集室より

ては草作りの技術と経営が大きな課題である。又今年は酪農関係では不足払い制度が四月から実施される定期的な年である。これら畜産の根本的諸問題について

誌代
一部五十円(送料共)
年間予約六百円(送料共)
但し一部購入の場合は増頁号の時代をその都度の価格とし、年間予約者は増頁特集号の分も一部五十円のサービス価格とす。

集団申込の特典

十部以上を一括で年間予約する方は一部誌代を四十五円にします。
百部以上を一括で年間予約する方は一部誌代を四十円に割引きます。但この場合は一括購読ですから個人別発送は致しません。

申込方法

同封の振替用紙に代金を添え住所氏名明記の上申込んで下さい。
集団申込は代表者の名で何人分かを明記、誌代合計金額を払込んで下さい。但し申込みは前金を建前としております。

申込先

岡山市桑田町一丁目二番地
社団法人岡山県畜産会管理普及課
(電話)岡山②一八五七五番
(口座番号)岡山八五七五番

くまとまり、畜産関係の予算も農林当局並びに团体の努力によってかなりの増額をみたのであるが、根なし草だといわれている我国の畜産を本格的軌道にのせるためには、基本的に解決しなくてはならない問題が根底に横たわっている。農業基本法以来農政は大きく脱皮はしたものゝ、従来の農業基盤に代る新らしい構造改善は未だ策見えないまゝ、いままお農政不在時代が続いているのが現状である。

◇ 年があけてから新聞の社会面をにぎわした事件が続出した。全日本航空の墜落事件、早大の争議等々。農業直接関係のない事件だが、労働力不足と熟達した技術者が少ないとからくる無理な操業体制が事故をもたらしたことは否めない。早大事件にしても今はじまった問題ではなく、戦後二十年の長い私学経営の苦しさからくる問題が表面化したにすぎない。語るところ日本という国が貧乏なのに、高度生長經濟のかげにとり残されたひずみが積み重なつて至るところへボロを出す現象がみられるのである。教育問題以上に下積みの歴史が長く、問題の根が深い農業が、生産の鈍化をきたすのはけだし当然かもしれない

い。この傾向を正すには政策的テコ入
れが強く望まれる。県畜産会が行っている畜産コンサルタント事業で診断した結果をみても、經營改善をして農業所得をあげようとする資金で行詰り、価格で頭を打たれ、經營収支の均衡が破られる場合が多い。經營基盤の弱さを解消する政策の貧困さに由来する大きな壁に現実の農家はつきあたり悩んでいる。

◇ 昨年来から畜産物価格は非常に高騰し、表面的には畜産農家の赤字は解消されたかに見える。しかし今までこの相場が続くであろうか。牛肉不足が牛肉相場を限界にまで高めたが、これ以上に高くなる材料はみあらないし、むしろ消費者の牛肉に対する観念が変りつゝあり需要の増加は先ずみこまれないのではないか。鶏卵が毎日当たり二六〇円の高値を続け、昨年の二倍という好相場が続いている。養鶏家は顔のほころびがとまらないであろうが、しかしこれでやっと赤字を消したにすぎない。これからが儲け字である。儲かったとき過剰な投資をして資金を使い果し、相場が下ったとき損をした損をしたというのが現状。新規計画は慎重にそしてきめの細かい収支計画の上に樹てたいものである。

◇ 畜産の基礎作り、特に大家畜にとつ

ては草作りの技術と経営が大きな課題である。又今年は酪農関係では不足払い制度が四月から実施される定期的な年である。これら畜産の根本的諸問題について今度はニューカッスル病という恐ろしい伝染病が周囲から襲ってきている。毎年何か經營をゆさぶるものがないとすれば、いよいよ出来ている畜産、ドロ糊式に対策がたてられ間に合わないのが現実である。その場限りの逃げ手ばかりを打つているからである。再び大きな災をまねくことのないよう根本的対策を政府も農家もそれぞの立場で講じあけるべき年であろう。

岡山畜産便り (一月号)
第十七卷 第十一号 (通巻第百六十三号)
昭和四十一年一月十日発行
発行人 惣津律士
編集人 千原英之
発行所 岡山市桑田町一の二
印刷所 岡山市下石井
岡山三六九一三番地
岡山縣畜産會
電岡山②一八五七五番
振替岡山八五七五番